COBY®

地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ

取扱説明書

55型LEDバックライト
地上/BS/110度CSデジタル
倍速フルハイビジョンテレビ
（LEDDTV5536J）

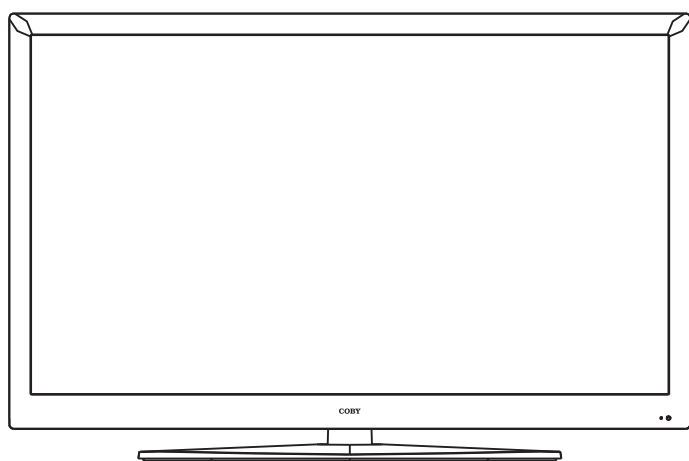
32型LEDバックライト
地上/BS/110度CSデジタル
ハイビジョンテレビ
（LEDDTV3226J）

データ放送には
対応していません

このたびはCOBY液晶テレビをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

■ この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に「安全のために必ず守ること」は、液晶テレビをご使用の前に必ず読んで正しくお使いください。

■ 保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。

もくじ

はじめに 3

準備 8

テレビを見る 18

設定 26

デジタル放送設定メニュー 34

外部機器との接続 48

その他 55

はじめに

液晶テレビをご使用になる前に下記の「安全上のご注意」、「使用上のご注意とお願い」を必ずよく読み、正しくお使いください。

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

本製品は安全に十分に配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使い方をすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。
本製品および付属品をご使用になるときは事故を防ぐために、次の注意事項をよくご理解の上かならずお守りください。

警告	この表示の注意事項を守らなかった場合、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
高圧注意を表します。	禁止を表します。
必ず指示に従います。	

注意	この表示の注意事項を守らなかった場合、人がけがをしたり、物的な損害を受けたりする可能性がある内容を示しています。
接触禁止を表します。	分解・修理・改造禁止を表します。
コンセントの扱いに注意してください。	

警告

- 電源プラグをコンセントから抜くときに必ず電源プラグを持って抜いてください。
濡れた手で電源プラグに触れないでください。感電の恐れがあります。
- 電源コードが損傷したり電源プラグが発熱したりしたときは、すぐに電源を切り、プラグの冷えたことを確認してコンセントから抜いてください。コードを抜くときはプラグを持ちながら行ってください。
- 雷が鳴り出したときは、本製品に触れないでください。誘導落雷により感電することがあります。
- 本製品の上に金属類、花瓶やコップなど水の入った容器をのせないでください。火災・感電の原因となります。
- 本製品の内部に金属類や燃えやすいもの、水分などが入ると、感電や火災の原因となります。
- 本製品を落としたとき、また落下物などで本製品キャビネットを破損したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き出してください。
- 本製品や電源コードの内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだりしないでください。
- 電源コードを延長したり、無理に曲げたり、ねじったり、束ねたり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。火災や感電の原因になります。
- 通風孔(放熱のための穴)をふさがないでください。内部に熱がこもり発火やけが、感電の原因となることがあります。
- 裏ぶたをはずさないでください。内部には電圧の高い部分があり、さわると感電の原因になります。
- 下記の場合は、電源を切り電源プラグを抜いてからお買上げの販売店に修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。ご自身での修理は危険ですので、絶対になさらないでください。
  - 落としたりして機器が破損した
  - 機器の中にものが入った
  - 熱器具に近づける
  - 液や煙、音、または異臭がでる
  - 機器を雨や湿気にさらした
  - 電源コードや電源プラグが破損した
  - 途中でつぎ足したりして加工する
  - トラブルシューティングで対応できない

安全上のご注意

⚠ 注 意

 平らで水平な場所に設置してください。不安定な場所に置きますと、倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

 湿気、ほこりの多い場所や、油煙、湯気が当たる場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。

 直射日光が当たる場所や温度が高くなる場所に放置しないでください。火災、故障の原因となることがあります。

 液晶パネルに衝撃を加えないでください。破損してけがや故障の原因になります。

 音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

 内部に熱がこもり、火災の原因となります。次のような使い方はしないでください。

- 本製品をあお向けや横倒し、逆さまにする。
- 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に置く。
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上に置く。

 移動するときは、電源プラグ、外部との接続をはずしてください。

 旅行などで長時間ご使用にならないときは、安全のため電源コードをコンセントから抜いてください。

 お手入れの際は安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

使用上のご注意とお願い

● **デジタル放送のコピー制御について**

本製品には付属のB-CASカードを必ず挿入してください。
デジタルテレビ放送では、コピー制御のために、B-CASカードの機能を利用します。
挿入されないと、すべてのデジタルテレビ放送が映らなくなります。
B-CASカードを挿入していただくことで、NHKも、無料民放も、これまでどおり番組をお楽しみいただけます。
デジタル放送は、鮮明で迫力あるハイビジョンなど高画質の放送がご覧になれ、また高画質のままで録画できることが特徴のひとつです。ただし、著作権への配慮が必要です。録画した番組を個人で楽しむ限りは問題ありませんが、録画した番組を許可なくダビングして他人に配ることは法律に違反します。また不正にダビングしたソフトが出回ることになれば、番組の制作者や出演者などの権利が著しく侵害され、良質な番組の提供に支障をきたすことになります。そこで地上デジタルテレビ放送局では、電波にコピー制御信号を加えて放送しています。 コピー制御により、著作権を保護し、魅力ある番組が制作されます。(ただし、コピー制御信号の実際の運用は、個々の放送局が判断します)

● **お手入れについて**

お手入れの際は、必ず本製品及び接続している機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。柔らかい布で軽く乾拭きしてください。汚れがひどいときは、水を含ませた布をよく絞り、拭き取った後は乾拭きしてください。

◆ キャビネットの変質・破損・塗料はがれの恐れがありますので、次のことをお守りください。
  - ・ベンジンやシンナーは使わないでください。
    また、化学ぞうきんの使用は、注意書きに従ってください。
  - ・殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。
    また、ゴムや粘着テープ、ビニール製品などを長期間接触させないでください。

◆ 液晶パネルの表面は、薄いガラス板の上にコーティング加工が施されています。パネル保護のため、次のことをお守りください。
  - ・パネルに硬いものやとがったものを当てたり、強く押したりこすったりしないでください。
    傷付き・変色の原因となります。
  - ・パネルの表面に露付きなどによる水滴など液体を付着した状態で使用しないでください。
    色ムラ・変色の原因となります。
  - ・パネルの汚れを拭き取るときは、ほこりの付いた布や化学ぞうきんなどを使わないでください。
    傷付き・変色の原因となります。

もし、異常があるときはすぐにお買い上げ店または、サービス/コールセンター(64ページ記載)にご相談ください。

● **液晶パネルのドット欠けについて**

液晶パネルには、画面の一部に欠点(光らない点)や輝点(余計に光る点)が存在する場合があります。
これは故障ではありません。

● **輸送について**

本体を横倒しにして輸送した場合、パネルガラスの破損や面欠点の増加のおそれがありますので、横倒しでの輸送はしないでください。

● **本製品を破棄するとき**

一般の廃棄物と一緒にしないでください。ごみ廃棄場で処分されるごみの中に本製品を捨てないでください。
破棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

● **本製品の温度について**

本製品は、長時間使用したときなどに、パネル表面や上部が熱くなる場合があります。熱く感じる場合もありますが、故障ではありません。また、ビデオディスクなどの熱で変形しやすいものを上に置かないでください。

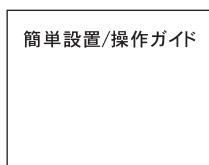
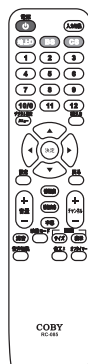
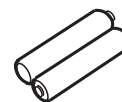
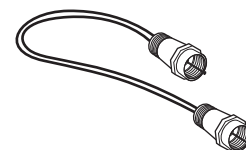
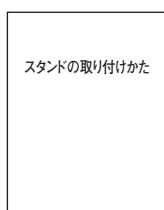
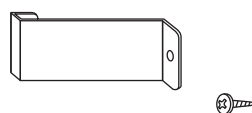
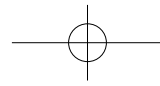
● **室内温度について**

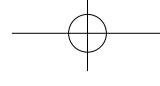
液晶の特性により、室温が低い場合は、画像がぼやけたり、動きがスムーズに見えなかったりすることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。

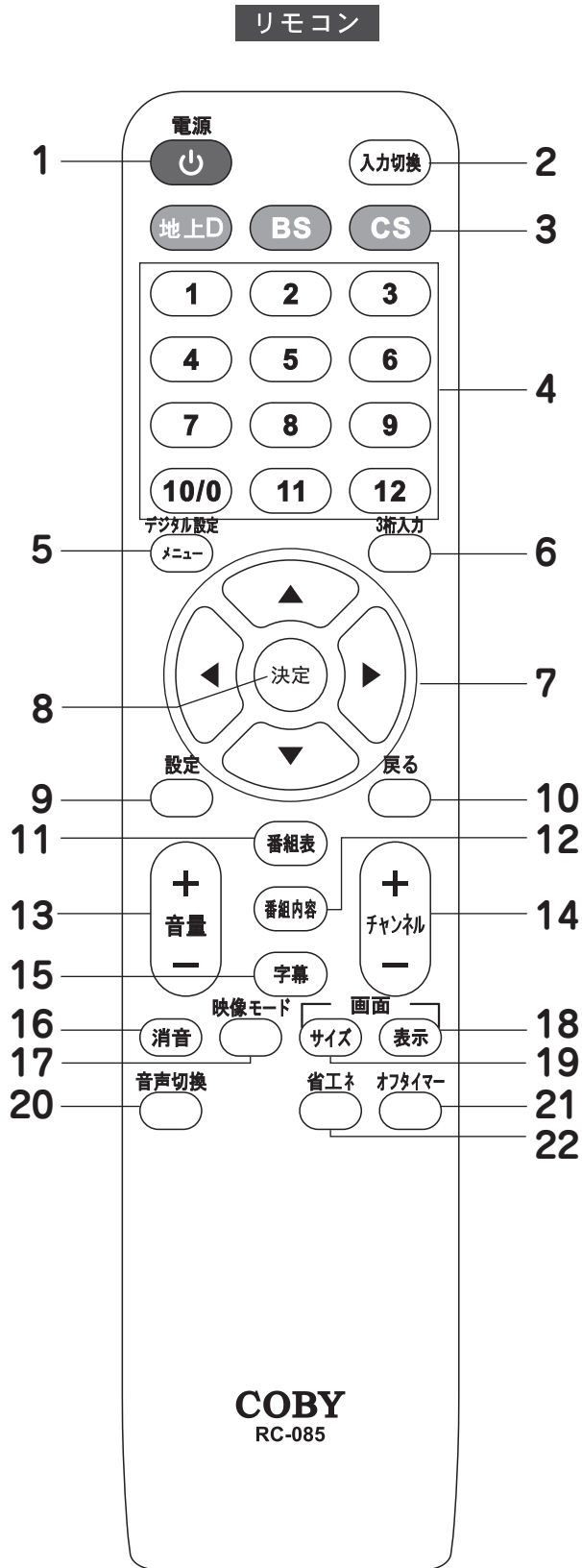
● **コンピュータゲーム機と接続した場合**

ガン(銃)タイプのコントローラーを使用するゲームなどは、本製品で使用できないことがあります。
詳しくは各ゲームおよびコントローラーの説明書をご覧ください。コンピュータゲーム機のコントローラーを使用される場合は、コントローラーの操作に対し、わずかに遅れて反応する場合がありますが、これは入力された信号が表示されるまでにデジタル処理による時間の遅れにより発生するためで、故障ではありません。
コンピュータゲームの種類・内容によっては、画面が欠ける場合があります。

付属品の確認

本製品の取り扱いになる前に、以下の物が全てそろっているか確認してください。万が一、不足しているものや破損している場合は販売店、サービス/コールセンター（電話：04-2960-3855）までご連絡ください。

- □ 取扱説明書（本書）
- □ 簡単設置/操作ガイド
- □ リモコン
- □ リモコン用乾電池2本（単4形）
- □ 保証書
- □ 電源コード
- □ B-CASカード
- □ アンテナケーブル（地上デジタル）
- □ ファーストステップガイド
- □ スタンドの取り付けかた
- □ B-CASカード 止金具

準 備

「準備」の項目は地上/BS/110度CSをお楽しみいただくために必要なアンテナ接続方法、B-CASカード挿入方法、本製品の各部の名称、主な機能、リモコンのボタンの説明などをご案内いたします。

各部の名称（リモコン）

リモコン

1 電源ボタン
テレビの電源をオン、オフに切り換えます。

2 入力切換ボタン
テレビにつないだビデオデッキ、DVDプレーヤーなどの外部機器の映像を見るとき使用します。
地上D/BS/CS→ビデオ1→ビデオ2→HDMI1→HDMI2→HDMI3→D5→PCの順番で切り換わります。

3 地上D／BS／CSボタン
地上デジタル放送/BS/CSをダイレクトに切り換えます。

4 数字ボタン
登録チャンネルに切り換えます。３桁入力や設定内でも使用します。

5 メニュー（デジタル設定）ボタン
地上デジタル放送の地域、チャンネルなどの設定、受信レベルの確認を表示します。

6 3桁入力ボタン
デジタル放送の３桁のチャンネル番号を選局するときに使用します。

7 方向▲▼◀▶ボタン
設定や電子番組表のカーソル移動をおこないます。

8 決定ボタン
設定の操作を決定します。

9 設定ボタン
各種設定ができる画面が表示されます。

10 戻るボタン
設定を操作している際に、一つ前に操作を戻す場合に使用します。

11 番組表ボタン
地上デジタル番組表（EPG）を表示します。

12 番組内容ボタン
地上デジタル放送視聴中に、番組情報を表示します。

13 音量ボタン（＋、－）
音量を変更します。

14 チャンネルボタン（＋、－）
設定されているチャンネル順にチャンネルを変更します。

15 字幕ボタン
地上デジタル放送視聴中の字幕放送の場合、ボタンを押せば字幕が見られます。もう一回押せば字幕が消えます。

16 消音ボタン
音量を消音状態にします。もう一度押すと元の音量に戻ります。

17 映像モードボタン
映像モード「ユーザー」、「標準」、「強調」、「ソフト」、「明るい」が選択できます。

18 画面表示ボタン
視聴しているチャンネルが表示されます。

19 画面サイズボタン
フル、16：9、4：3画面に切り換えます。

20 音声切換ボタン
放送の音声の主、副、主＋副を確認したり、選んだりします。

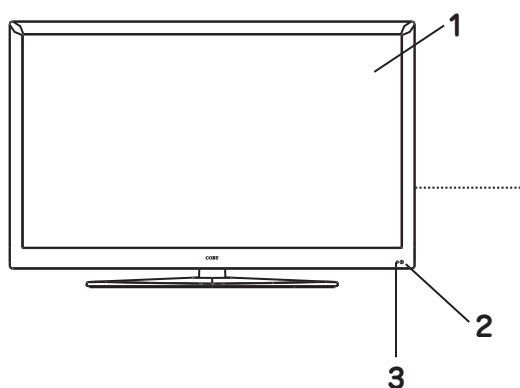
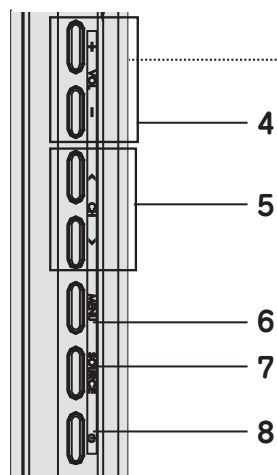
21 オフタイマー
テレビの自動オフ機能でオフ、30/60/90/120 分が選べます。オフを選択すればオフタイマーは作動しません。15～180分の内、選択した時間後自動で電源がオフ（スタンバイ状態）になります。

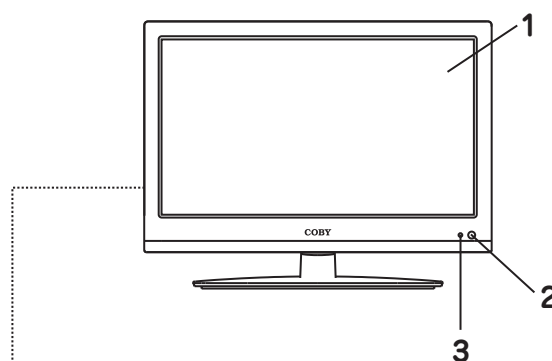
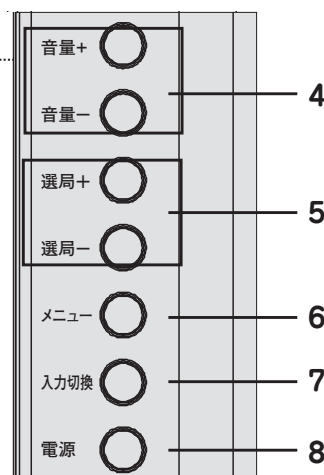
22 省エネ
バックライトの明るさを調節し消費電力を低減します。

各部の名称（本体）

● 表示例として使用している表示画面については、実際の画面と異なる場合があります。

【55型】

本体正面

本体の右側面

【32型】

本体正面

本体の左背面

準備

1 液晶パネル

2 リモコン受光部

3 電源表示ランプ
スタンバイ状態のときは赤色に点灯します。
電源オンにすると緑色に点灯します。

4 音量＋/ーボタン
音量の調整やメニュー設定時の項目の選択に使用します。

5 チャンネル＋/ーボタン
チャンネルの選択やメニュー設定時の項目の選択に使用します。

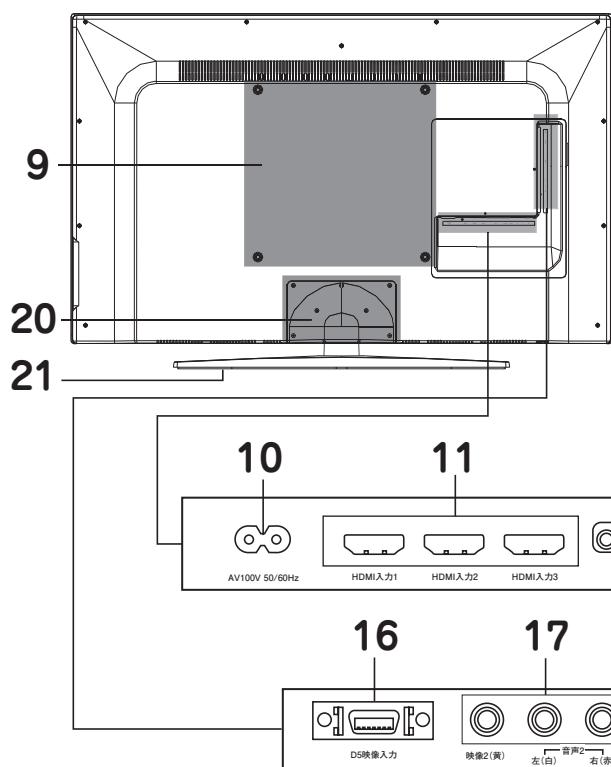
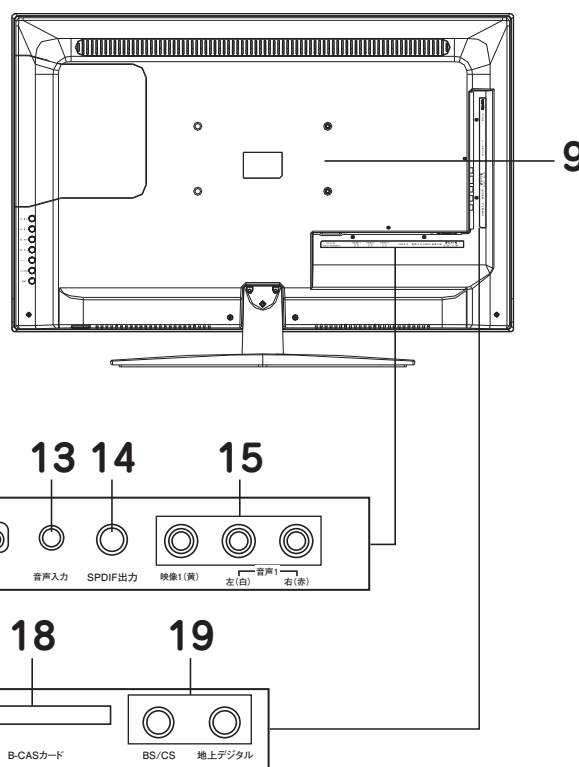
6 メニューボタン
各種設定ができる画面が表示されます。

7 入力切換ボタン
テレビにつないだビデオデッキ、DVDプレーヤーなどの外部機器の映像を見るとき使用します。
地上D/BS/CS/→ビデオ1→ビデオ2→HDMI1→HDMI2→HDMI3→D5映像→PCの順番で切り換わります。

8 電源ボタン
ボタンを押すと、電源がオンになります。
（緑色LED点灯）
再度押すと、電源がオフになり、スタンバイ状態になります。（赤色LED点灯）

【55型】

本体背面

【32型】

本体背面

9 壁掛け金具取り付けネジ穴×4

10 電源入力端子
電源コードを接続します。

11 HDMI入力端子
HDMI出力端子付きの機器に対応しています。

12 PC用モニター入力端子
PCのRGBケーブルからの映像出力に対応しています。

13 音声入力端子
PCの音声出力に対応しています。

14 SPDIF出力端子
デジタル音声デコード機能を持つオーディオ機器と接続します。

15 映像入力端子1
ビデオ映像出力端子付きの機器に対応しています。
ビデオ音声/DVD音声入力端子
ビデオ/DVD映像入力端子やD5映像端子に共用の音声入力端子です。

16 D5映像入力端子
D映像出力端子やコンポーネント出力端子付きの機器に対応しています。

17 映像入力端子2
ビデオ映像出力端子付きの機器に対応しています。
ビデオ音声/DVD音声入力端子
ビデオ/DVD映像入力端子です。

18 B-CASカード挿入口

19 アンテナ入力
地上デジタル
地上デジタルアンテナケーブルを接続します。
BS/CS
衛星アンテナケーブルを接続します。

20 プラスチックカバー×2(内・外)(55型)

21 スタンドユニット

テレビの設定

● **テレビの設定手順**

安全に品質を維持した状態で本製品をご利用いただくために下記の設定・接続が必要となります。

1 設置する
⬇
2 アンテナを接続する
⬇
3 （必要に応じ）外部映像機器と接続する
⬇
4 B-CASカードを入れる
⬇
5 リモコンの準備をする
⬇
6 電源コードを接続する
⬇
7 電源を入れる
⬇
8 チャンネルを設定する

準備

設置する

1 設置する

安全に本製品をご利用いただくために下記の注意事項を守って設置してください。

⚠ **注 意**

- 傾いていない水平な場所に設置してください。
- じゅうたんのような柔らかい場所やすべりやすい面などの不安定な場所には設置しないでください。
- 極端に温度が高いところや低いところに設置しないでください。
- 本製品を壁掛けを使用しての利用の場合は61ページをご覧になり、十分に理解した上で設置を行ってください。

アンテナの接続

2 アンテナを接続する

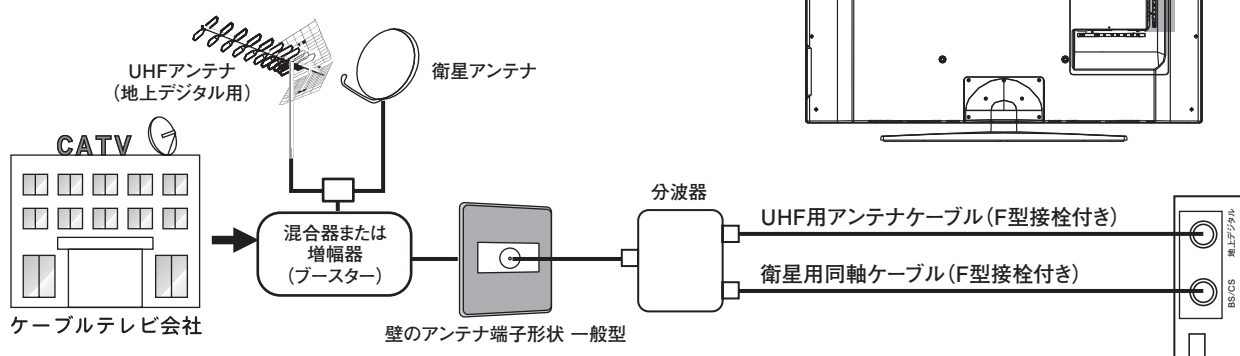
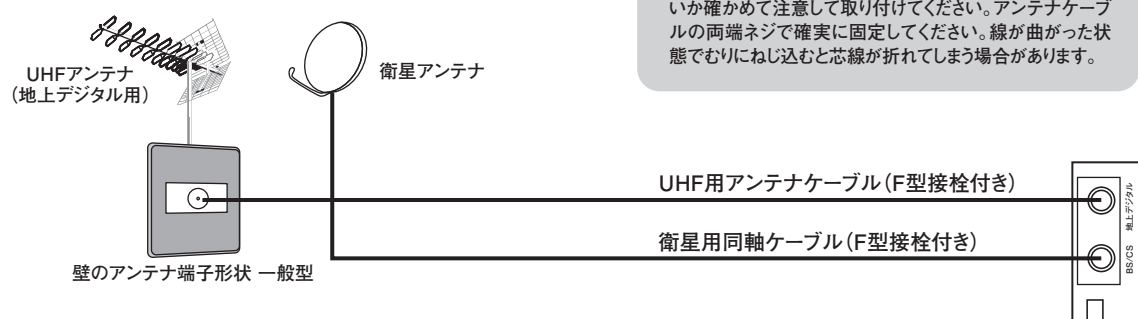
本製品はデジタル放送が受信できるテレビです。本製品を安全に品質を維持した状態でご利用いただくためには下記の確認と設定が必要ですので、ご注意をお願いします。

●地上デジタル放送を受信するにはUHFアンテナ（地上デジタル用）が必要です。
●BS／110度CS放送を受信するには衛星アンテナが必要です。
アンテナの購入、設置に関しては販売店、電気店、専門の業者にご相談ください。

注意

【CATV（ケーブルテレビ）でデジタル放送をご覧になるお客さまへ】
各ケーブルテレビ会社によって伝送方式や接続方法が異なる場合があります。詳しくは各ケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

アンテナ入力端子
地上デジタルUHF
衛星アンテナ

■ 地上デジタル放送とBS／110度CSの放送信号が混合されている場合

■ 地上デジタル放送とBS／110度CSの放送信号が個別の場合

アンテナ線を接続する場合は芯線が曲がっていないか確かめて注意して取り付けてください。アンテナケーブルの両端ネジで確実に固定してください。線が曲がった状態でむりにねじ込むと芯線が折れてしまう場合があります。

室内側(壁)のアンテナ端子形状の確認と接続

●室内側（壁）のアンテナ端子形状の確認
上図のアンテナ端子形状が一般型の場合は付属品のアンテナケーブル（市販品も可）をそのまま接続して使えますが、一般型以外の形状は付属品のアンテナケーブルと形が違い、市販品の同軸ケーブルが必要です。販売店、電気店から購入、接続が必要です。
●室内側（壁）のアンテナ端子とテレビ本体のアンテナ端子の接続
上図のように室内（壁）のアンテナ端子と付属品のアンテナケーブルを接続してからテレビの背面にあるアンテナ端子にしっかり接続します。

※BSデジタル放送の有料放送や110度CSデジタル放送は受信契約が別途必要です。

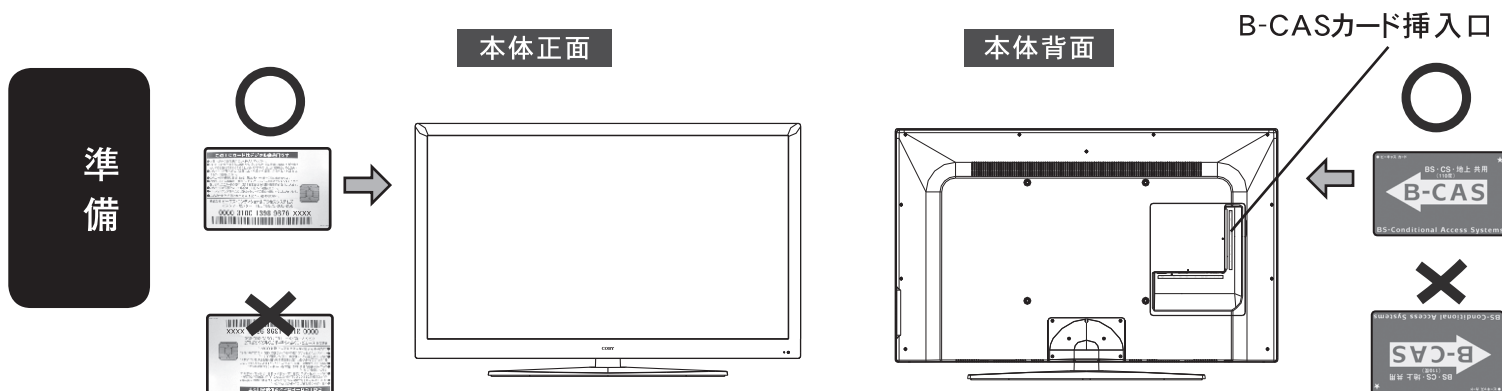
3 （必要に応じ）外部映像機器と接続する

再生機器やPC（パソコン）等を接続する場合は本体背面の各入力端子を使用します。接続する機器に対応した入力端子に接続してください。※ビデオデッキは相性の関係で正常に映像・音声が出ない場合があります。

準備

B-CASカードの準備

4 B-CASカードを入れる

デジタル放送を視聴する場合には、必ずB-CASカードを挿入してください。B-CASカードは、放送局からのメッセージ管理等のほか、著作権保護の為のコピー制御にも利用されています。
B-CASカードが挿入されていないと デジタル放送をご覧になれません。

B-CASカードの挿入時は、本製品の電源プラグを電源コンセントに接続しない状態で挿入します。
本体正面を向いて左側にあるB-CASカード挿入口にB-CASカードを挿入します。
上図のようにB－CASカードは「B－CAS」と書かれた面が本体背面を向くように、矢印の方向へ挿入してください。

B-CASカードを抜くとき

- 万一、抜く必要があるときは、本製品の電源プラグを電源コンセントから抜いたあと、ゆっくりB-CASカードを抜いてください。
- B-CASカードにはIC（集積回路）が組み込まれているため、画面にB-CASカードに関するメッセージが表示されたとき以外は、抜き差しをしないでください。

B-CASカードについて

- 本製品に付属のB-CASカードには1枚ごとに違う番号（B-CASカード番号）が付与されています。
- B－CASカードに関する質問や台紙の内容などに関して不明な点がある場合はB－CASカスタマーセンター（TEL：0570-000-250)へお問い合わせください。

⚠ 注意

- B-CASカードを折り曲げたり、変形させないでください。
- B-CASカードの上に重いものを置いたり踏みつけたりしないでください。
- B-CASカードに水をかけたり、ぬれた手でさわらないでください。
- B-CASカードのIC（集積回路）部には手をふれないでください。
- B-CASカードの分解加工は行わないでください。
- ご使用中にB-CAS カードの抜き差しはしないでください。デジタル放送が視聴できなくなる場合があります。
- B-CASカード挿入口にB-CASカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となることがあります。
- 裏向きや逆方向から挿入しないでください。挿入方向を間違うとB-CASカードは機能しません。
- カードが貼ってある台紙の説明をご覧ください。

B-CASカード止金具について

- B-CASカードを子供などのいたずらで抜かれたりしないように、付属の止金具でB-CASカードを止めることができます。

リモコンの準備

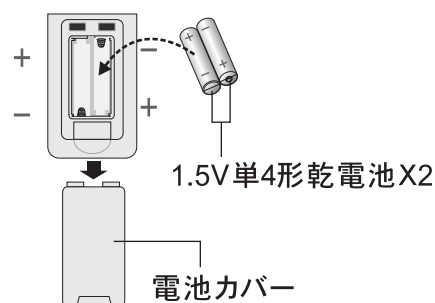
5 リモコンの準備をする

● リモコン背面の電池カバーを取り外してください。

● 電池の向き(+、−)に注意して単4形乾電池を入れてください。

● カバーを元に戻します。

1.5V単4形乾電池X2

電池カバー

⚠ 注意

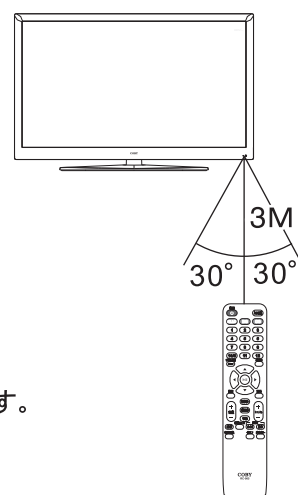
● 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
● 乾電池は同じ形状でも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
● 長い間(1カ月以上)リモコンを使用しないときは、電池の液もれを防ぐため、乾電池を取り出してください。もし、液もれを起こしたときは、ケース内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。
● 不要になった電池を廃棄する場合は、各地の地方自治団体の指示(条例)に従って処理してください。

⚠ 警告

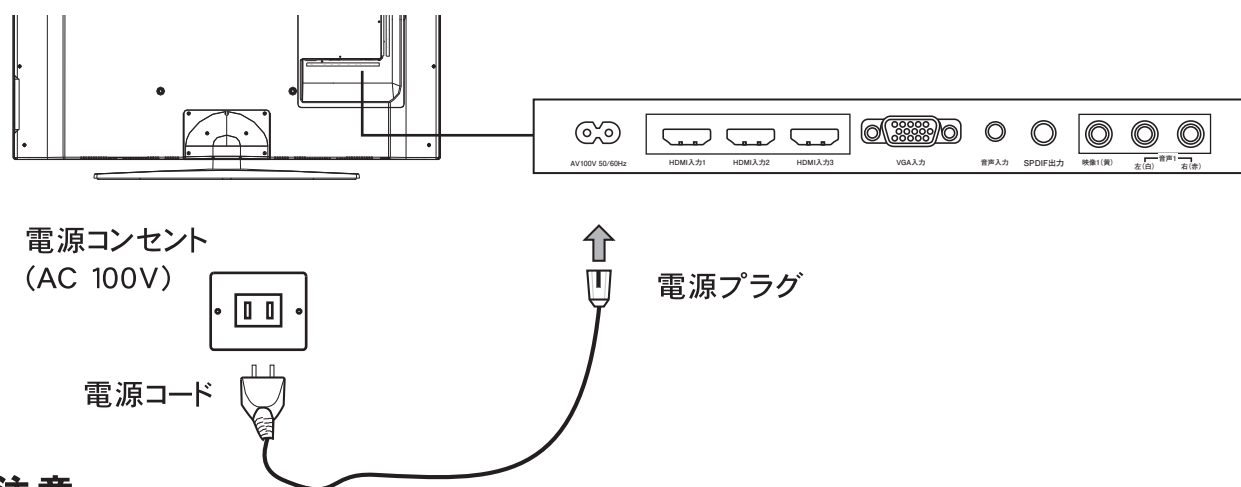
電池を直射日光の強いところや、炎天下の車内・ストーブの前などの高温の場所で使用・放置しないでください。電池の液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。また、電池の性能や寿命が低下することがあります。

3M
30° 30°

基本的な使い方

リモコンはディスプレイ本体のリモコン受光部へ 正しく向けて操作してください。
本製品のリモコン対応範囲は距離 3 メートル以内、上下左右30°以内(右図参照)です。
またリモコンとリモコン受光部の間に物を置かないようにしてください。

電源コードをつなぐ

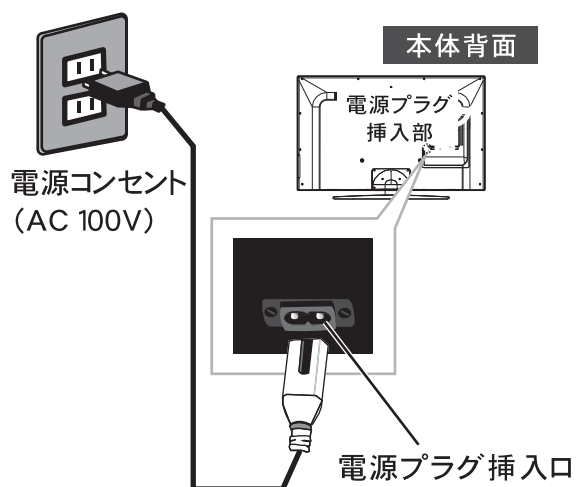
6 電源コードを接続する

付属の電源コードの本体側プラグを本体背面下の「電源コード挿入口」に接続し、コンセント側プラグを電源コンセント(AC 100V)に接続してください。

⚠ 注意

● 電源をつなげる前に、すべての必要な接続が適切に行われているか確認してください。
● 電源プラグを挿入するのが難しい場合は、電源プラグを裏返して再挿入してください。
● もし、製品を一定の長い期間使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。

電源を入れる

7 電源を入れる

電源プラグを本体に挿入してから、電源コンセント側にもう片側を接続してください。

本体側面のパワーボタンを押すか、リモコンの電源ボタンを押してください。電源表示ランプは動作中は緑に、スタンバイ（待機）中は赤く点灯します。

⚠ 注 意

- 電源を入れてから画面が映るまでに数秒かかります。画面が表示されるまで少しお待ちください。
- リモコンの電池がきちんと入っていることを確認してください。

準備

地上デジタル放送チャンネル設定

8 チャンネルを設定する

地上デジタル放送チャンネルを設定し、テレビ番組を視聴できるようにします。

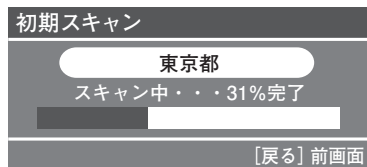
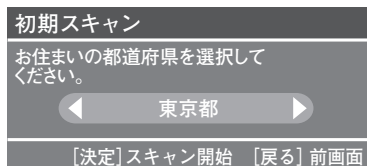
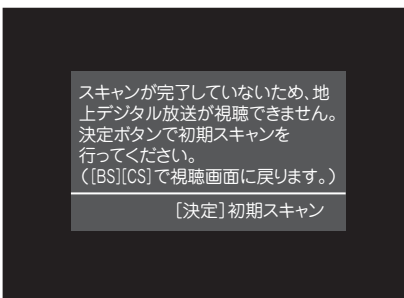
1 入力切換 を押して、地上Dを選びます。

2 写真表示の画面が出ます。

3 決定 を押します。

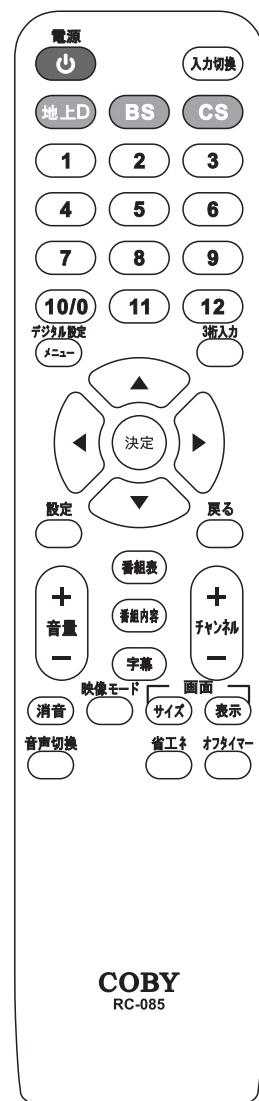
4 ◀ 決定 ▶ で、お住まいの都道府県を選び、 決定 を押します。

5 スキャンを開始します。

6 スキャンを完了すると、地デジリモコン設定の画面となり、受信できる放送局のリストを表示します。(地デジリモコン設定をする場合は37ページの地デジリモコン設定をご覧ください)

No.	受信CH	:放送局
1	011	:NNK総合1・東京
2	021	:NNKEテレ1東京
3	031-1	:tvt1
4	041	:目テレ1
5	051	:テレビ昼日
6	061	:TBL1
7	071	:テレビ東東1
8	081	:フシテレビ
9	091	:TOKYO MX1
10	101	:J:COM HD
11	111	:J:COMチャンネル
12	121	:放送大学1

7 決定 を押すと受信画面に変わり、テレビ番組を視聴できます。

リモコン

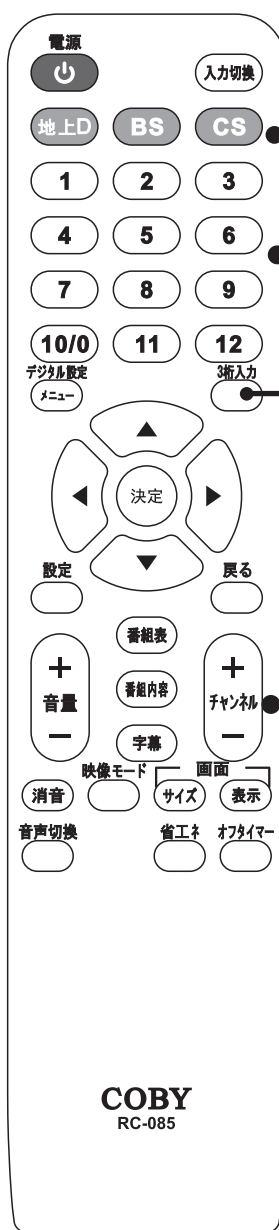
準備

テレビを見る

「テレビを見る」の項目では、本製品をお使いいただく際の基本的な操作方法やさまざまな機能のご使用方法をご案内いたします。

電源を入れる

本製品の電源表示ランプが赤色点灯の状態でリモコンの電源ボタンか本体の電源ボタンを押してください。
前面の電源ランプが緑色に点灯します。しばらくすると、前回見ていたチャンネルが表示されます。

チャンネルを切り換える

リモコン

地上D/BS/CSボタン

地上デジタル放送/BS/CS ダイレクトに切り換えます。
CSを押していくと、CS1→CS2→CS1と繰り返します。

数字ボタン

数字ボタンを押すと割り当てられているチャンネルに切り換わります。

3桁入力ボタン

デジタル放送で 3桁入力 を押すとチャンネル番号入力欄が表示されます。
数字ボタンで3桁のチャンネル番号を入力します。
例：地上デジタル「012」チャンネルを選ぶとき。

① 3桁入力 を押します。

\- 画面右上に3桁入力欄が表示されます。

②数字ボタン 10/0 1 2 を押します。

01- 3番目の数字ボタンを入力するとチャンネルが変わります。

チャンネルボタン

チャンネルボタンを押すと登録されているチャンネル順にチャンネルが切り換わります。
本体のチャンネル+/−ボタンでも切り換わります。
※地上デジタルで複数チャンネル放送を行っている場合、代表チャンネル以外に切り換えることができます。

テレビを見る

音量を調節する

リモコンの ＋音量− ボタンの ＋ で音量が大きく、− で小さくなります。

15

(消音)を押すと音声が一時的に出なくなります。
もう一度(消音)を押すか、音量ボタンを押すと解除されます。
また、電源のオフ/オンを行なうと解除されます。
本体の音量+−ボタンでも調整できます。

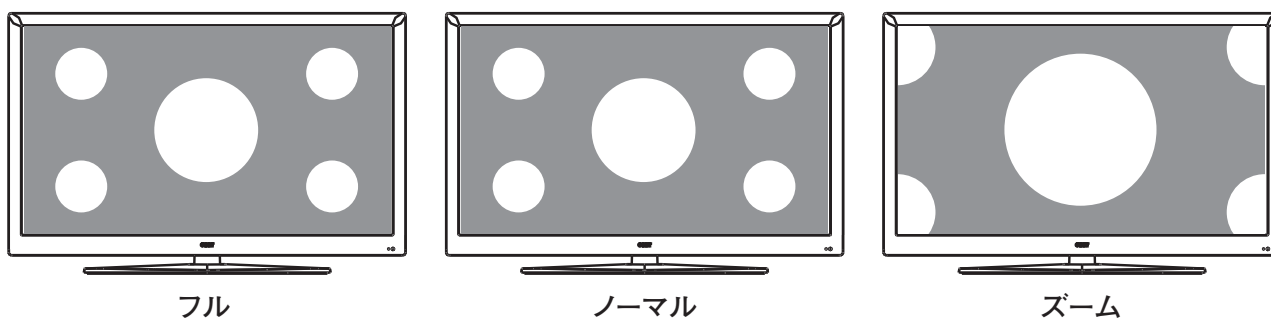
画面サイズを変更する

(サイズ) で画面のアスペクト比を切り換えることができます。
アスペクト比の切換は入力モードによって変わります。

⚠ 入力信号によって、画面サイズの変更ができない場合があります。

フル、16:9、4:3から画面サイズ選択できます。 (サイズ) を押すと画面右下に画面サイズが表示されます。
再度押すと画面サイズが切り換わります。

デジタル放送画面

フル　ノーマル　ズーム

⚠ 放送によっては画面サイズの変更が できない場合があります。

画面表示をおこなう

(表示)を押すと、画面に情報を表示します。

デジタル放送を視聴中に(表示)を押すと 画面に現在のチャンネルや番組タイトルなどのチャンネル情報を表示します。

音声を切り換える

音声情報が複数ある番組（二ヶ国語放送など）の場合 (音声切替)を押すと音声が切り換わり、画面に現在の音声情報が表示されます。

二ヶ国語ステレオ音声の場合

第1音声：ステレオ → 第2音声：ステレオ

⚠ 放送によって音声情報の表示は異なります

オフタイマーを使う

(オフタイマー) ボタンを押して、自動でテレビの電源を切る時間を設定します。オフ /30/60/90/120 分の順番に設定できます。

(オフタイマー) ボタンを再び押すと残量時間が表示されます。

最後の59秒から残量時間が表示されます。

オフタイマー

30 分

字幕を切り換える

字幕のある番組のときに、字幕の表示・非表示を切り換えることができます。

デジタル放送視聴中に（字幕）を押します。

（字幕）を押すたびに字幕の表示・非表示が切り換わります。

画面には現在表示中の字幕言語情報が表示されます。
字幕放送非対応の番組を視聴中に（字幕）を押しても字幕は表示されません。
最大切り換え数は2ヶ国語までです。
地上デジタル放送の字幕の設定は地デジ設定メニューからおこなえます。
詳しくは42ページをご覧ください。

 放送によって字幕切換できない場合があります。

映像モードを切り換える

現在選択されている入力モード（地上D、ビデオ1/2、HDMI1/2/3、D5端子、PC）の映像をお好みの映像モードに選択できます。

視聴中に（映像モード）を押します。
（映像モード）を押すたびに下記の5つのモードに変わります。

- ユーザー：設定画面で調整した画質になります。（画質設定ページ参照）
- 標準：くせのない、標準的な色合いになります。
- 強調：色が濃くすっきりした画質になります。
- ソフト：落ち着いた色合いで、映画などのフィルム映像に適しています。
- 明るい：コントラストが高く、くっきりとした映像が楽しめます。

電子番組表(EPG)

● 番組表(電子番組表：EPG)を表示する

「電子番組表」とは デジタル放送などでテレビ画面に表示される番組表のことです。

◆ 基本操作

デジタル放送を視聴中にリモコンの (番組表) を押すと、視聴していた番組が選択されている番組表が表示されます。

番組表は1放送局分、6番組の番組名画面が表示されます。

番組表は8日分の番組を表示させることができます。

◆ 番組表を取得する方法

電源を入れた状態では、全チャンネルの全ての時間帯の番組表データを取得できていません。
未受信のチャンネル番組表を取得する場合は、番組表データを取得したいチャンネルを選択し番組表をいったん閉じます。 数分後、再び番組表を表示しますと、データの受信が完了している場合には、そのチャンネルの番組名などが番組表に表示されます。

テレビを見る

⚠ 地上デジタルの番組表データは一つのチャンネルごとに受信します。別のチャンネルの番組表データを受信するには別のチャンネルを選択して、同様の操作をおこなってください。
なお、番組表データの取得時間は電波状況によって異なります。取得に時間がかかる場合がございます。
その間は、リモコンを操作しても、番組表は切り換わりませんので、あらかじめご了承ください。

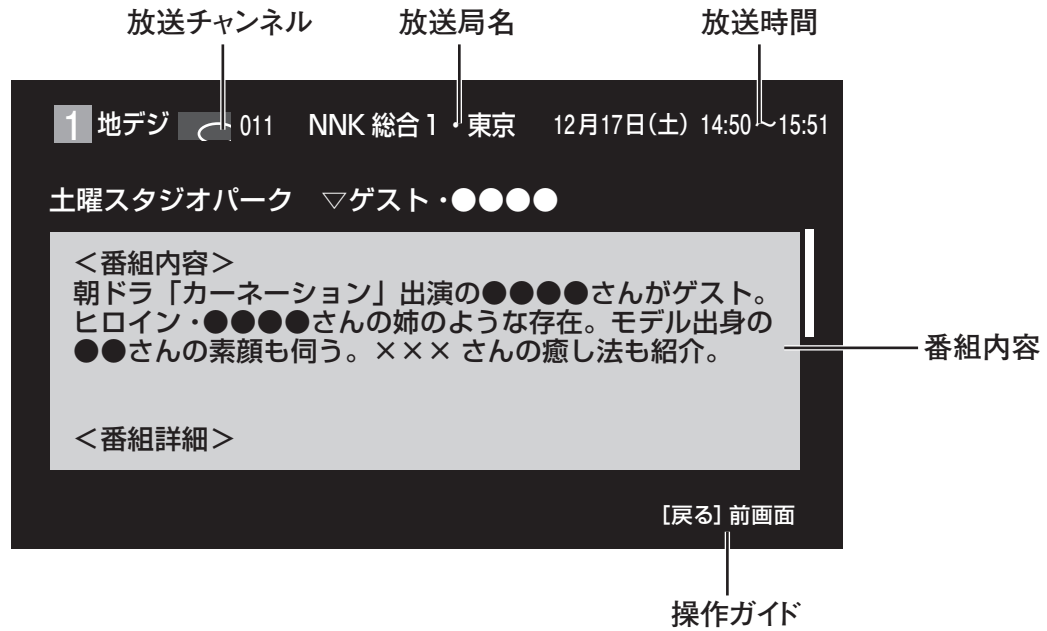
◆ 電子番組表の表示

⚠ 本製品に録画機能、および視聴予約の機能はありません。
また上記の番組表は架空のもので実際のものとは一切関係ありません。
なお画面の表示形式は実際のものと多少、異なる場合があります。

⚠ 電子番組表を表示しているとき、音声は出ません。

電子番組表(EPG)

◆ **番組内容の表示**

電子番組表を表示し、(番組内容)を押すと番組の情報が表示されます。

◆番組表から番組情報を知りたい番組を選ぶ

1 (番組表)を押し、番組表を表示します

2 番組情報を知りたい番組を (▲▼◀▶) で選択します。

放送局を切り換えるには放送局名を選択し、(◀▶) で選択します。

番組を切り換えるには (▲▼) で選択します。

3 (番組内容)を押すと、番組情報が表示されます。

◆翌日以降の番組情報を見る

1 (番組表) を押し、番組表を表示します。

2 (▼) を押していくと、7日後までの番組表を見ることができます。

または、リモコンの (字幕) を押すと、翌日に切り換わります。

リモコンの (音声切替) を押すと、前日に切り換わります。

3 (番組内容) を押すと、番組情報が表示されます。

電子番組表(EPG)

●番組検索

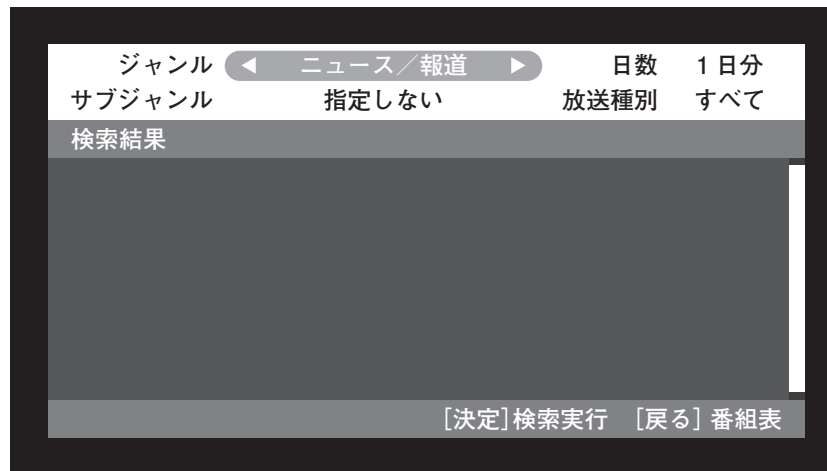
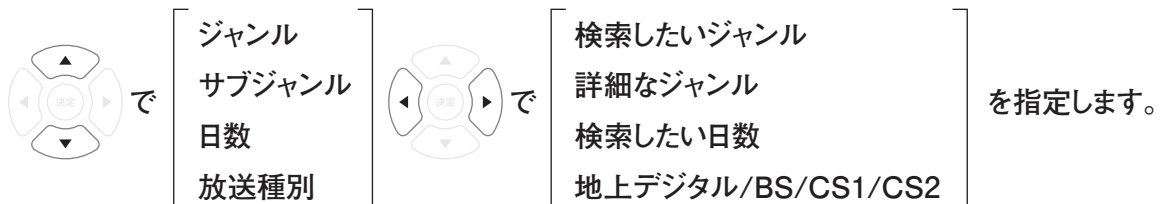
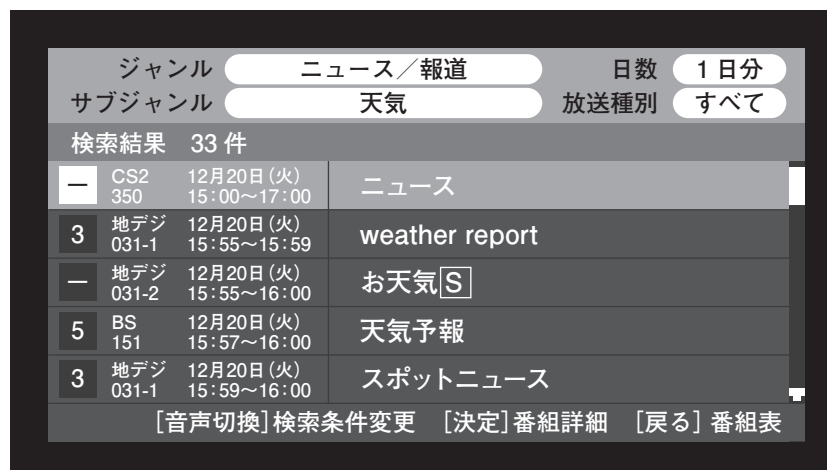
番組検索を使うと、お好みのジャンルの番組表を見ることができます。

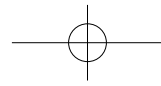
1 （番組表）を押し、番組表を表示します。

2 リモコンの（表示）を押します。

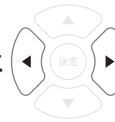
3 番組検索の画面が表示されます。

4 検索内容を指定します。

で	ジャンル サブジャンル 日数 放送種別	で	検索したいジャンル 詳細なジャンル 検索したい日数 地上デジタル/BS/CS1/CS2	を指定します。

5 （決定）を押すと検索を実行します。

6 番組詳細が知りたい番組は で選択し、（決定）を押すと内容を見ることができます。

テレビを見る

設 定

「設定」の項目では、設定画面での操作方法をご案内いたします。設定では本製品の画面設定や音声設定などさまざまな設定をおこなうことができます。

設定のメニュー画面

● 設定のメニュー画面では本製品のさまざまな設定をおこなうことができます。

リモコンの 設定 ボタンを押すと、設定画面が表示されます。
設定画面は何も操作をしない場合、約20秒で画面から消えます。

● **設定の基本操作**

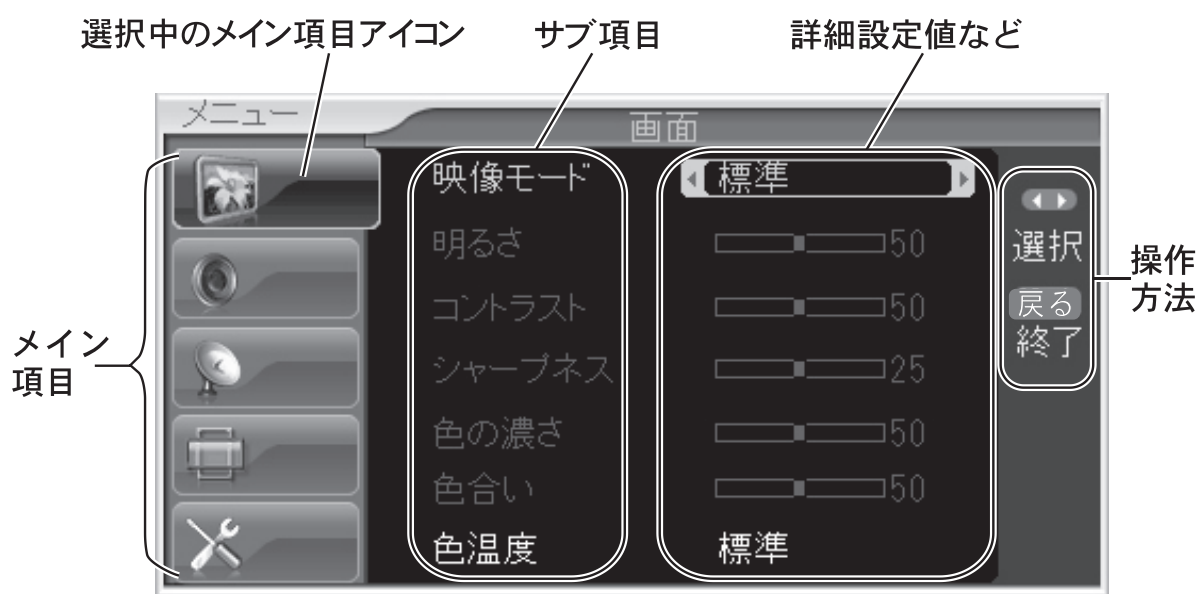
1 入力切換 を押して設定を変更したい入力モードに切り換えます。

入力切換の画面が表示されるので、リモコンの で選択し 決定 を押します。

2 設定 を押して、設定画面を表示させます。

⚠ デジタル設定 メニュー と間違わないよう、気をつけてください。
入力モードによって設定できる項目が異なります。

設定

設定のメニュー画面

※画面の表示形式は実際のものと多少、異なる場合があります。

3 リモコンの を使い、画面(映像)設定、音声設定、チャンネル の設定、PC設定、その他の設定のメイン項目の中から設定を変更したい項目を選びます。

項 目	内 容
画面(映像)設定	画面の明るさ、色合いなどの設定
音声設定	音声モード、高音、低音、バランスの設定
デジタル設定	地上デジタル設定は別途「デジタル放送設定メニュー」をご覧ください。
PC設定	PCからの入力画面サイズなどの設定
その他の設定	OSD言語やリセット、省エネモードなどの設定

4 を使い、各サブ項目の中から設定を変更したい項目を選びます。

- 入力の種類によって設定が行える項目が異なります。
- 各サブ項目設定の変更方法は、それぞれのサブ項目により異なります。
- 操作方法は設定画面表示時に画面の右側の方に表示されます。

前の画面(メイン項目の選択)に戻るにはリモコンの 戻る を押してください。

設定画面を消すには、もう一度 戻る を押すか、設定 を押してください。

画面（映像）設定

● 画面（映像）の設定

◆ 映像モード設定

「ユーザー」、「標準」、「強調」、「ソフト」、「明るい」の中からお好みの映像を選択することができます。

を使いお好みの設定を選択します。またリモコンの 映像モード を押すと画面の映像を切り換えることができます。

※画面の表示形式は実際のものと多少、異なる場合があります。

◆「ユーザー」モードを選択すると、色合いや明るさ、コントラストなど設定することができます。

を選択した状態で 決定 を押してください。

を使い、各サブ項目の中から設定を変更したい項目を選び 決定 を押します。

◆ 調整した設定はそれぞれの入力モードの「ユーザー」に記憶されます。

◆ 映像モードの「ユーザー」で各サブ項目を調整すると、お好みの映像で設定でき、「ユーザー」に上書き設定されます。

◆ 明るさ

画面の「明るい」を調整することができます。リモコンの

を使って調整します。

数値は０から１００の間で１ポイントずつ調整できます。
数値を大きくすると画面が明るくなります。

◆ コントラスト

画面の「コントラスト」を調整することができます。リモコンの を使って調整します。

数値は０から１００の間で１ポイントずつ調整できます。
数値を大きくすると画面の明暗の差がはっきりします。

設定

画面（映像）設定

◆ **シャープネス**

画面の「鮮明さ」を調整することができます。リモコンの◀▶を使って調整します。

数値は０から１０の間で調整できます。
数値を大きくすると画面が鮮明になります。※ＰＣの場合は調整できません。

シャープネス ◀ 5 ▶

◆ **色の濃さ**

画面の「色の濃さ」を調整することができます。リモコンの◀▶を使って調整します。

数値は０から１００の間で１ポイントずつ調整できます。
数値を大きくすると色が濃くなります。※ＰＣの場合は調整できません。

色の濃さ ◀ 50 ▶

◆ **色合い**

画面の「色合い」を調整することができます。リモコンの◀▶を使って調整します。

数値は０から１００の間で１ポイントずつ調整できます。
お好みの色合いで調整してください。※ＰＣの場合は調整できません。

色合い ◀ 50 ▶

◆ **色温度**

画面の「色温度」を調整することができます。リモコンの◀▶を使って調整します。

3 種類「寒色 、標準、 暖色」で調整できます。
お好みや視聴する映像に合わせて設定を切り換えてお楽しみいただけます。
※ＰＣの場合は調整できません。

色温度 ◀ 標準 ▶

⚠ 映像モードを「ユーザー」に選択した時のみ、明るさ、コントラスト、シャープネス、色の濃さ、色温度を調整することができます。

音声設定

●音声の設定

◆ 音声モードや音量バランスを調整することができます。

 を選択した状態で 決定 を押してください。

 を使い、各サブ項目の中から設定を変更したい項目を選び 決定 を押します。

※画面の表示形式は実際のものと多少、異なる場合があります。

◆ 音声モード

音声モードを調整することができます。リモコンの を使って調整します。

「ユーザー」､「標準」､「音楽」､「映画」､「音声」で調整できます。

⚠ 音声モードを「ユーザー」に選択した時のみ、高音、低音、バランスを調整することができます。

◆ 高音

高音の音量を調整することができます。リモコンの を使って調整します。

数値は０から１００の間で１ポイントずつ調整できます。
数値を大きくすると高音が大きく、数値を小さくすると高音が小さくなります。

◆ 低音

低音の音量を調整することができます。リモコンの を使って調整します。

数値は０から１００の間で１ポイントずつ調整できます。
数値を大きくすると低音が大きく、数値を小さくすると低音が小さくなります。

◆ バランス

本体スピーカーの左右の音量バランスを調整することができます。リモコンの を使って左右を調整します。

◀ を押していくと左側からのみ音声が聞こえるようになります。

▶ を押していくと右側からのみ音声が聞こえるようになります。

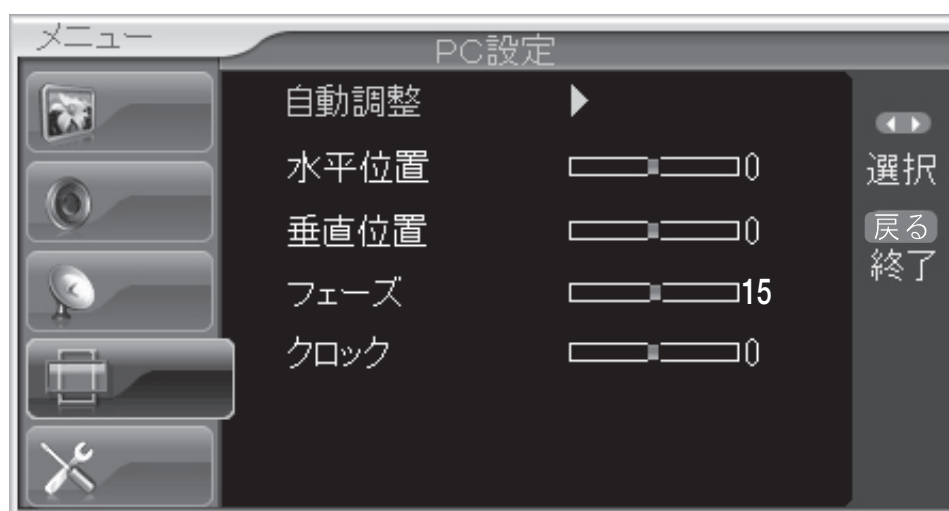
PC設定

● PC画面の設定

◆ PC画面の設定を行ないます。

※PC設定は入力切換をPCに切り換え、PCから映像出力がある状態でおこなえます。

 を選択した状態で（決定）を押してください。

 を使い、各サブ項目の中から設定を変更したい項目を選び（決定）を押します。

※画面の表示形式は実際のものと多少、異なる場合があります。

◆ 自動調整

PCからの入力画面サイズに合わせて画面サイズを自動で調整することができます。

（決定）を押すと実行されます。

自動調整中は画面がチラついたり細かく上下左右に動きますので、凝視されないようご注意ください。

※PCからの入力サイズによっては自動画面調整を行なっても全画面状態にフィットしない場合があります。

◆ 水平位置

画面の水平位置を調整することができます。リモコンの を使って調整します。

数値は0から±16の間で調整できます。

数値を大きくすると画面が左方向に、数値を少なくすると画面が右方向に移動します。

◆ 垂直位置

画面の垂直位置を調整することができます。リモコンの を使って調整します。

数値は0から±16の間で調整できます。

数値を大きくすると画面が上方向に、数値を少なくすると画面が下方向に移動します。

◆ フェーズ

画面に入る細い縦の線や縦縞を減らしたいときに調整します。リモコンの を使って調整します。

数値は0から31の間で調整できます。

数値を変えると画面の横幅が変わります。

◆ クロック

画面に水平に入るノイズを取り除く場合に調整します。リモコンの を使って調整します。

数値は－50から＋50の間で調整できます。

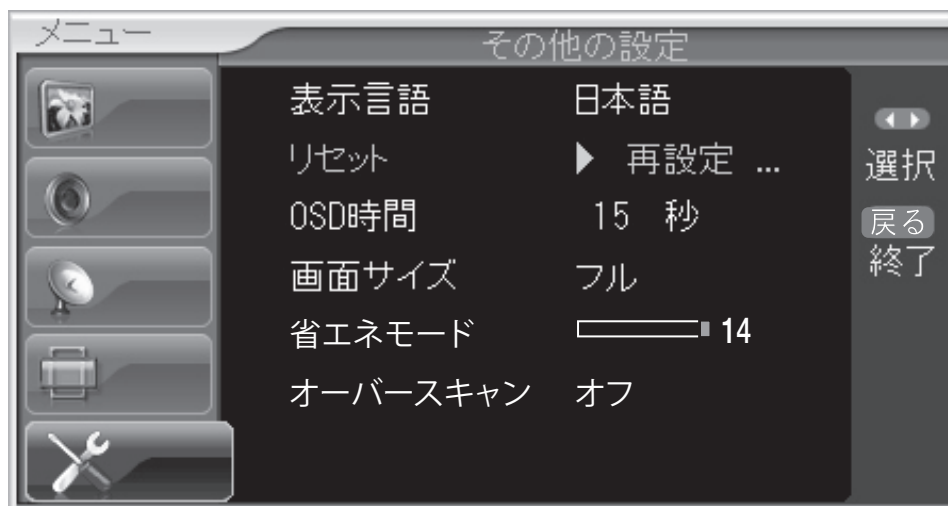
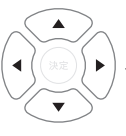
接続するPCに合わせて数値を調整してください。

その他の設定

●その他の設定

◆ 表示言語、リセット、OSD時間、画面サイズ、省エネモードの設定をおこなうことができます。

を選択した状態で 決定 を押してください。

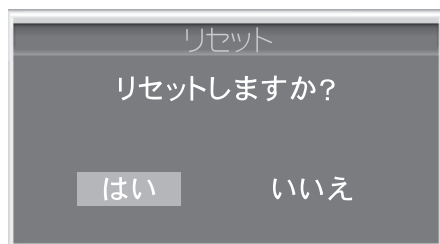
を使い、各サブ項目の中から設定を変更したい項目を選び 決定 を押します。

※画面の表示形式は実際のものと多少、異なる場合があります。

◆表示言語の設定

画面に表示されるOSD言語（日本語、英語など）の調整ができます。
※工場出荷状態は日本語です。

◆リセットの設定

画面（映像）設定、音声設定、地上アナログ設定、PC設定、その他の設定を工場出荷状態に戻します。

▶ を押すと下記のような確認画面が表示されますので を使って「はい」を選択し で決定します。

リセット
リセットしますか？
はい　いいえ

◆OSD時間

各種設定のOSD表示時間の調整ができます。

◆画面サイズ

フル、16:9、4:3の画面サイズの選択ができます。
※入力信号によって画面サイズの変更ができない場合があります。

◆省エネモード

バックライトの明るさを調節し、消費電力を低減します。

◆オーバースキャン

HDMI入力時、画面のオーバースキャン（表示範囲）を変更できます。

- リセットを行なうと以前の設定に戻すことはできません。実施する際は十分ご注意ください。
- リセットを選択し 決定 を押すと、確認画面が表示されず、リセットされますので、ご注意ください。

デジタル放送設定メニュー

「デジタル放送設定メニュー」の項目では、デジタルメニュー画面での操作方法をご案内いたします。設定メニューではデジタル放送のさまざまな設定をおこなうことができます。　※本書では、地上デジタル/BS/CS1/CS2をデジタル放送と称しています。

デジタル放送設定でできること

設定メニュー 一覧

信号切換	映像	映像1		マルチアングル放送の時に映像を選びます	45
	音声	音声1／音声2		音声1、音声2など多重放送の時に音声を選びます	45
機器設定	視聴設定	字幕	切／日本語／英語	字幕表示を設定します	42
		文字スーパー	切／日本語／英語	文字スーパーの表示を設定します	42
	制限設定	暗証番号設定	暗証番号設定画面	設定をリセット、視聴許可年齢を管理します	40
		暗証番号削除	暗証番号入力画面	暗証番号を削除します	41
		視聴許可年齢	暗証番号入力画面	視聴制限をする年齢を設定します	41
	その他の設定	自動ダウンロード	する／しない	エンジニアリングサービスがある時に自動でするかしないかを選びます	43
		電源供給	入／切	BSアンテナに電源を供給するかしないかを選びます	43
	ICカード情報	カード識別		B-CASカードのIDを表示します	44
初期設定	チャンネル設定	地デジ	チャンネルスキャン	お住まいの都道府県から地上デジタル放送局を探します	36
			再スキャン	引越などで受信場所が変わったときなどに、地上デジタル放送局を再度探します	36
		BS CS1 CS2	リモコン設定	リモコンボタンにお好みのチャンネルを割り当てます	37
			チャンネルスキップ	スキップさせたいチャンネルを設定します	38
			アンテナレベル	受信レベルの確認ができます	39
	設定初期化	暗証番号入力	買上時にリセット	設定を買上状態にリセットします	46
お知らせ	放送局からのお知らせ	放送局からのお知らせ一覧		放送局からのお知らせを確認します	47
	CSボード	ボード一覧		CSデジタル放送のボード情報（掲示板）を確認します	47
	本機に関するお知らせ	本機に関するお知らせ一覧		本機のソフトウエアチャンネルなどの更新情報を確認します ※更新は自動で行われます	47

デジタル放送設定

デジタル放送設定をするには、まず以下の設定を行なってください。

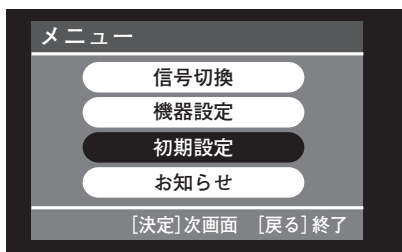
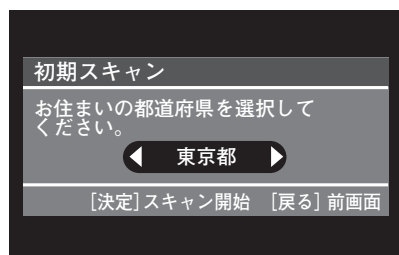
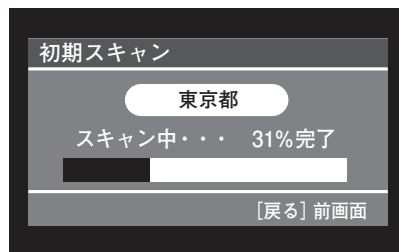
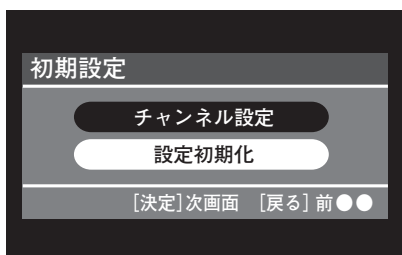
1 デジタル設定（メニュー）を押します。

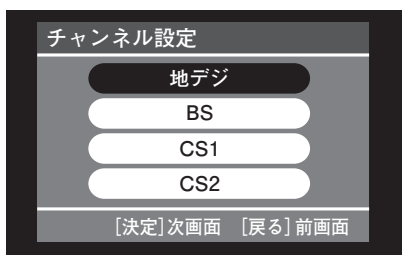
2 ▲▼で、初期設定を選び、決定を押します。

3 ▲▼で、チャンネル設定を選び、決定を押します。

4 ▲▼で、地デジを選び、決定を押します。

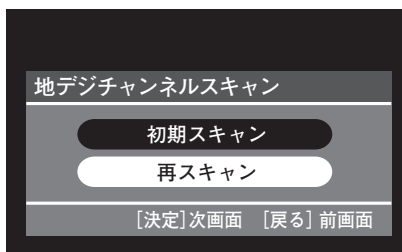
5 ▲▼で、チャンネルスキャンを選び、決定を押します。

6
▲▼で、初期スキャンを選び、決定を押します。

7 ◀▶で、お住まいの都道府県を選び、決定を押します。

8 スキャンを開始します。

9 スキャンを完了すると、地デジリモコン設定の画面となり、受信できる放送局のリストを表示します。
リモコン設定をする場合は37ページの地デジリモコン設定を参照してください。

地デジリモコン設定

No.	受信CH	：放送局
1	011	：NNK総合1・東京
2	021	：NNKEテレ1東京
3	031-1	：tvt1
4	041	：目テレ1
5	051	：テレビ昼日
6	061	：TBL1
7	071	：テレビ東東1
8	081	：フシテレビ
9	091	：TOKYO　MX1
10	101	：J：COM　HD
11	111	：J：COMチャンネル
12	121	：放送大学1

［決定］確定　［戻る］前画面

10 決定を押すと受信画面に変わり、テレビ番組を視聴できます。

初期設定（リモコン設定）

●リモコン設定

リモコンにお好みの数字ボタンを割り当てることができます。

1 デジタル設定 メニュー を押します。

2 ▲▼ で、初期設定を選択し 決定 を押します。

3 ▲▼ で、チャンネル設定を選択し 決定 を押します。

4 設定する放送システム（地デジ/BS/CS1/CS2）を ▲▼ で選択し 決定 を押します。

5 ▲▼ で、リモコン設定で選択し 決定 を押します。

現在の数字ボタンに割り当てられた放送局一覧が表示されます。

地デジリモコン設定

No.	受信CH	：放送局
1	◀ 011	：NNK総合1・東京 ▶
2	021	：NNKEテレ1東京
3	031-1	：tvt1
4	041	：目テレ1
5	051	：テレビ昼日
6	061	：TBL1
7	071	：テレビ東東1
8	081	：フシテレビ
9	091	：TOKYO　MX1
10	101	：J：COM　HD
11	111	：J：COMチャンネル
12	121	：放送大学1

［決定］確定　［戻る］前画面

6 変更したいボタンを ▲▼ で選択し ◀▶ で割り当てたい放送局を選択します。

地デジリモコン設定

No.	受信CH	：放送局
1	011	：NNK総合1・東京
2	021	：NNKEテレ1東京
3	031-1	：tvt1
4	041	：目テレ1
5	◀ 051	：テレビ昼日 ▶
6	061	：TBL1
7	071	：テレビ東東1
8	081	：フシテレビ
9	091	：TOKYO　MX1
10	101	：J：COM　HD
11	111	：J：COMチャンネル
12	121	：放送大学1

［決定］確定　［戻る］前画面

7 別のボタンを変更したい場合は上記と同様の動作を繰り返します。

変更を確定するには 決定 を押します。

初期設定（チャンネルスキップ）

● スキップさせるチャンネルを設定する

1 デジタル設定 メニュー を押します。

2 で、初期設定を選択し 決定 を押します。

3 で、チャンネル設定を選択し 決定 を押します。

4 設定する放送システム（地デジ/BS/CS1/CS2）を で選択し 決定 を押します。

5 で、チャンネルスキップを選択し を押します。放送局一覧が表示されます。

地デジチャンネルスキップ

CH	放送局	スキップ
011	NNK総合1・東京	◀ しない ▶
012	NNK総合2・東京	しない
021	NNKEテレ1東京	しない
022	NNKEテレ2東京	しない
023	NNKEテレ3東京	しない
031-1	tvt1	しない
031-2	テレ王1	しない
032-2	テレ王2	しない
033-2	テレ王3	しない
041	目テレ1	しない
042	目テレ2	しない
051	テレビ昼日	しない

［決定］確定　［戻る］前画面

6 スキップしたい放送局を で選択し で “しない”を “する”に換えます。

地デジチャンネルスキップ

CH	放送局	スキップ
011	NNK総合1・東京	◀ する ▶
012	NNK総合2・東京	しない
021	NNKEテレ1東京	しない
022	NNKEテレ2東京	しない
023	NNKEテレ3東京	しない
031-1	tvt1	しない
031-2	テレ王1	しない
032-2	テレ王2	しない
033-2	テレ王3	しない
041	目テレ1	しない
042	目テレ2	しない
051	テレビ昼日	しない

［決定］確定　［戻る］前画面

7 別の放送局をスキップする場合は上記と同様の動作を繰り返します。

変更を確定するには 決定 を押します。

チャンネルスキップに設定されたチャンネルは 、本体のチャンネル＋、−ボタンで選択できません。再びチャンネルを選択できるようにするにはチャンネルスキップを解除してください。

初期設定（アンテナレベル）

●アンテナレベルを見る

◆現在登録されているチャンネルのアンテナレベルを表示します。

1 デジタル設定（メニュー）を押します。

2 ▲▼で、初期設定を選択し（決定）を押します。

3 ▲▼で、チャンネル設定を選択し（決定）を押します。

4 設定する放送システム（地デジ/BS/CS1/CS2）を▲▼で選択し（決定）を押します。

5 ▲▼で、アンテナレベルを選択し（決定）を押します。

受信している放送局の物理チャンネルが表示されます。
現在の受信レベルと過去の最大値の受信レベルが表示されます。
受信レベルの目安は60以上です。

別のチャンネルを確認する場合は（戻る）を押して、受信画面に戻り、そこで別のチャンネルに変更してから、同様の操作をおこなってください。

●物理チャンネルから受信レベルを調べる

アンテナレベルの表示している画面で◀▶を押していくと物理チャンネルが換わります。

受信できるチャンネルの受信レベルを確認できます。

⚠ 物理チャンネルについて	・送信所から実際に送られてくるチャンネル番号のことです。 ・物理チャンネルと3桁チャンネルは一致しません。

デジタル放送設定メニュー

機器設定（暗証番号設定）

●暗証番号を設定する

1 デジタル設定(メニュー)を押します。

2 ▲▼で、機器設定を選択し（決定）を押します。

3 ▲▼で、制限設定を選択し（決定）を押します。

4 ▲▼で、暗証番号設定を選択し（決定）を押します。

5 暗証番号設定画面が表示されます。

6 暗証番号に4ケタの1から10の数字を入力します。暗証番号確認にもう一度同じ番号を入力します。
メッセージに「暗証番号の設定が完了しました」と表示されれば設定は完了です。

> ⚠ **暗証番号はメモを取り、大切に保管してください**
> 暗証番号が判らなくなると、修理にお出しいただかない限り暗証番号の変更や全設定リセットがおこなえなくなりますので変更する際は十分注意してください。

●暗証番号を変更する

1 デジタル設定(メニュー)を押します。

2 ▲▼で、機器設定を選択し（決定）を押します。

3 ▲▼で、制限設定を選択し（決定）を押します。

4 ▲▼で、暗証番号設定を選択し（決定）を押します。

5 暗証番号を入力します。

6 暗証番号を設定する画面が表示されます。設定と同様の操作で再設定します。

機器設定（暗証番号設定）

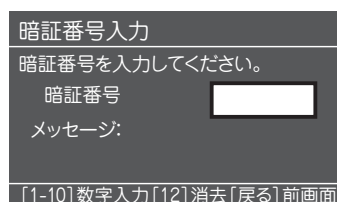
●暗証番号を削除する

1 デジタル設定(メニュー)を押します。

2 ▲▼で、機器設定を選択し 決定 を押します。

3 ▲▼で、制限設定を選択し 決定 を押します。

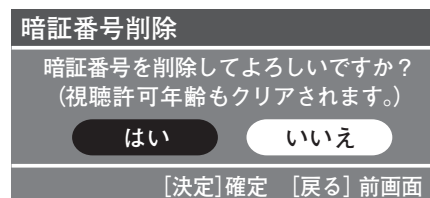
4 ▲▼で、暗証番号削除を選択し 決定 を押します。

5 暗証番号を入力します。

6 暗証番号削除の画面が表示されます。

7 ◀▶で“はい”を選んで 決定 を押すと

暗証番号が削除されます。

●視聴許可年齢を設定する

1 デジタル設定(メニュー)を押します。

2 ▲▼で、機器設定を選択し 決定 を押します。

3 ▲▼で、制限設定を選択し 決定 を押します。

4 ▲▼で、視聴許可年齢を選択し 決定 を押します。

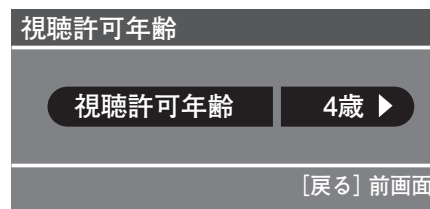
※暗証番号が設定されていないと選択できません。

5 ◀▶で4歳から20歳まで年齢制限を選びます。

視聴年齢制限が設定されている番組を視聴しようとした時

- 番組の視聴許可年齢が設定年齢以下のとき、番組を見ることができます。
- 番組の視聴許可年齢が設定年齢を超えるとき、暗証番号を入力する必要があります。

※視聴年齢制限を「18歳」に設定した場合

視聴許可年齢が18歳以下の番組‥‥番組を見ることができます。
視聴許可年齢が18歳を超える番組‥‥暗証番号の入力が必要です。

機器設定（字幕・文字スーパー）

●字幕を設定する

◆ 字幕放送対応の番組に切り換えた際の字幕の種類を選択します。

1 デジタル設定（メニュー）を押します。

2 ▲▼で、機器設定を選択し（決定）を押します。

3 ▲▼で、視聴設定を選択し（決定）を押します。

4 ▲▼で、字幕を選択し「なし」「第1言語」「第2言語」の中から◀▶で選択し（決定）を押します。

※番組によって、第一言語は日本語、第二言語は英語のように表示されます。

●文字スーパーの設定をする

◆ 文字スーパー放送対応の番組に切り換えた際の文字スーパーの種類を選択します。

1 デジタル設定（メニュー）を押します。

2 ▲▼で、機器設定を選択し（決定）を押します。

3 ▲▼で、視聴設定を選択し（決定）を押します。

4 ▲▼で文字スーパーを選択し「なし」「第1言語」「第2言語」の中から▲▼で選択し（決定）を押します。

※番組によって、第一言語は日本語、第二言語は英語のように表示されます。

⚠ 字幕・文字スーパーとは
・字幕：番組の内容にあった字幕情報。
・文字スーパー：番組の内容に関係のない気象情報や地震情報の文字情報。

機器設定（その他の設定）

●自動ダウンロード

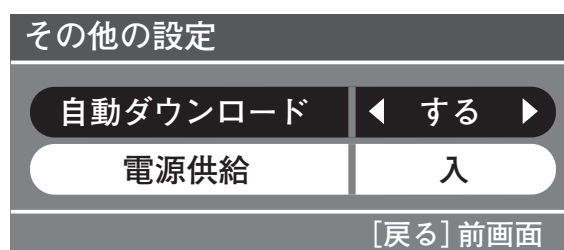
◆エンジニアリングサービスあるときに自動でダウンロードするかしないかを選びます。

1 デジタル設定（メニュー）を押します。

2 で、機器設定を選択し 決定 を押します。

3 で、その他の設定を選択し 決定 を押します。

4 で自動ダウンロードを選択し、"する"

"しない"を を押します。

●電源供給

◆衛星放送アンテナに電源を供給するかしないかを選びます。

1 デジタル設定（メニュー）を押します。

2 で、機器設定を選択し 決定 を押します。

3 で、その他の設定を選択し 決定 を押します。

4 で電源供給を選択し、"入" "切"を

 を押します。

デジタル放送設定メニュー

機器設定（ICカード情報）

●ICカードの情報

◆本製品に付属されているB-CASカードのIDを表示します。

1 デジタル設定（メニュー）を押します。

2 ▲▼で、機器を選択し（決定）を押します。

3 ▲▼で、ICカードを選択し（決定）を押します。

デジタル放送設定メニュー

信号切換（映像/音声）

●映像切換

◆マルチアングルの映像がある番組を視聴した際の設定をおこなえます。

1 デジタル設定（メニュー）を押します。

2 ▲▼で、信号切換を選択し（決定）を押します。

3 ▲▼で、映像を選択し◀▶で、"映像1" "映像2"を選択し（決定）を押します。

信号切換	
映像	映像 1
音声	音声 1
	［戻る］前画面

 放送番組によりますので、マルチアングルの放送が無い時は切り換わりません。

●音声切換

◆複数の音声情報がある番組を視聴した際の設定をおこなえます。

1 デジタル設定（メニュー）を押します。

2 ▲▼で、信号切換を選択し（決定）を押します。

3 ▲▼で、音声を選択し◀▶で、"音声1" "音声2"を選択し（決定）を押します。

信号切換	
映像	映像 1
音声	音声 1
	［戻る］前画面

 放送番組によりますので、複数の音声情報の放送が無い時は切り換わりません。

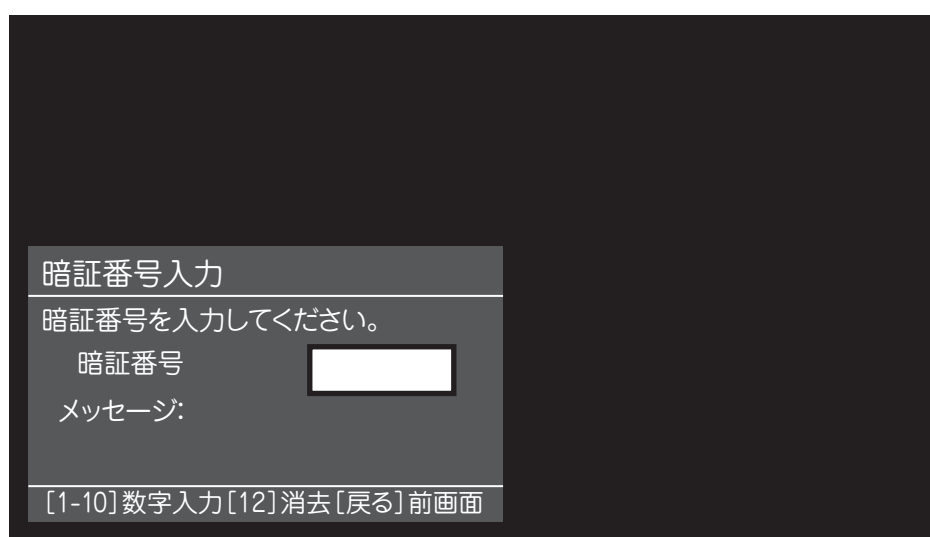
初期設定（設定初期化）

●全設定をお買い上げ状態に戻します

1 デジタル設定（メニュー）を押します。

2 ▲▼で初期設定を選択し（決定）を押します。

3 設定初期化を選択します。

4 暗証番号入力画面が出ます。（暗証番号が設定されていない時は、5に行きます）

5 暗証番号を入力すると次の画面が表示されます。

6 はいを選んで（決定）を押すと、設定がお買上げ時の状態に戻ります。

設定初期化を行うと全ての設定情報がリセットされます。
地域情報やチャンネル情報が全てリセットされます。
設定初期化を行う場合は十分注意しておこなってください。

お知らせ

●放送局からのお知らせ

◆ソフトウェアのファームアップのお知らせを表示します

> ⚠ 地上デジタル放送の電波を使い、本製品用のES（エンジニアリングサービス）を発信し、ファームウェアの変更を行うときに放送メールとしてお知らせします。

1 デジタル設定 メニュー を押します。

2 ▲▼ で、お知らせを選択し 決定 を押します。

3 ▲▼ で、放送局からのお知らせを選択し 決定 を押します。

4 放送局からのお知らせ一覧が表示されますので、ご覧になりたい項目を ▲▼ で選択し 決定 を押します。

> 放送局からのお知らせ本文
>
> 放送設備の保守･点検のため、12月0日（0日深夜）下記時間帯で放送を休止させていただきます。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。
>
> ［戻る］前画面

●CSボード

◆CSデジタル放送の一部のチャンネルが提供しているボード（掲示板）を表示します

1 デジタル設定 メニュー を押します。

2 ▲▼ で、お知らせを選択し 決定 を押します。

3 ▲▼ で、CSボードを選択し 決定 を押します。

4 CSボード一覧が表示されますので、ご覧になりたい項目を ▲▼ で選択し 決定 を押します。

> CSボード
>
> ＊＊＊の変更を行います。
> 詳細は近日中にお知らせします。
> 皆様のご理解とご協力をお願いいたします。
>
> ［戻る］前画面

●本機に関するお知らせ

◆本機のソフトウェアやチャンネルの更新情報を表示します

1 デジタル設定 メニュー を押します。

2 ▲▼ で、お知らせを選択し 決定 を押します。

3 ▲▼ で、本機に関するお知らせを選択し 決定 を押します。

4 本機に関するお知らせ一覧が表示されますので、ご覧になりたい項目を ▲▼ で選択し 決定 を押します。

> 本機に関するお知らせ本文
>
> チャンネルスキャンの居住地域設定で指定した地域とその近隣地域の放送局（送信所）が200X年12月X日からX日に変更されている可能性があります。
>
> ［戻る］前画面

デジタル放送設定メニュー

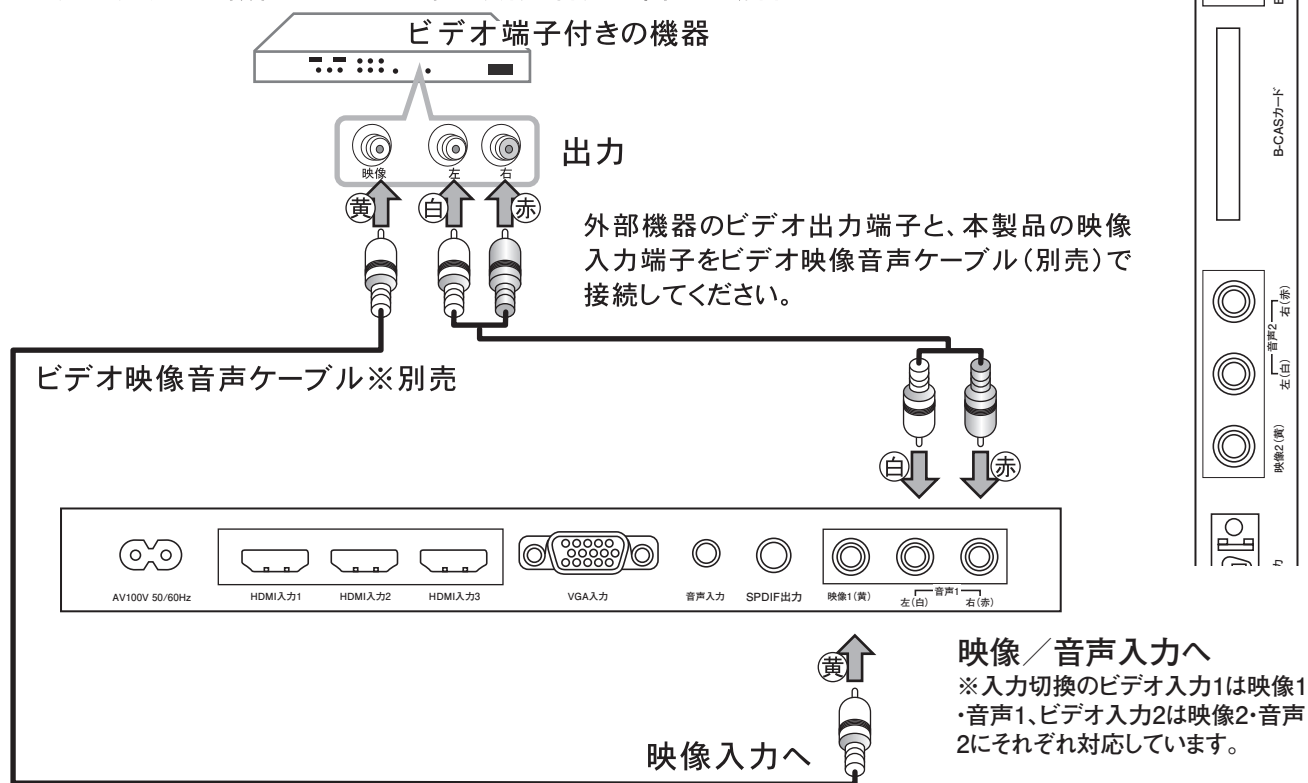
外部機器との接続

「外部機器との接続」の項目では再生機器やPC（パソコン）などとの接続方法をご案内いたします。

・ケーブル接続作業の際は、電源プラグを抜いて作業してください。
・ノイズが入る場合がありますので外部機器と本製品との間には十分な距離をおいてください。
・接続する機器の映像出力端子の種類によって接続方法が異なります。接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
・各外部入力は映像端子が接続されていない状態では音声が出力されません。予めご了承ください。

ビデオ映像出力のある機器との接続

● ビデオ映像出力のある機器との接続のしかた

ビデオデッキは機種によって正常に映像、音声が出ない場合がございます。

入力切換を行なっても「信号なし」と表示される場合は、正常に接続ができていない可能性があります。
もう一度、外部機器との接続を確認してください。

- ・ケーブル接続作業の際は、電源プラグを抜いて作業してください。
- ・接続の際には同じ色のケーブルと端子を接続してください。
- ・ビデオ入力接続の際には他の映像ケーブルは取り外してください。
- ・ノイズが入る場合がありますので外部機器と本製品との間には十分な距離をおいてください。
- ・接続する機器の映像出力端子の種類によって接続方法が異なります。接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- ・図は略図です。実際は異なることがあります。

● 入力したビデオ映像をご覧になるには

を押すと、画面右上に右図の入力切換メニューが表示されます。

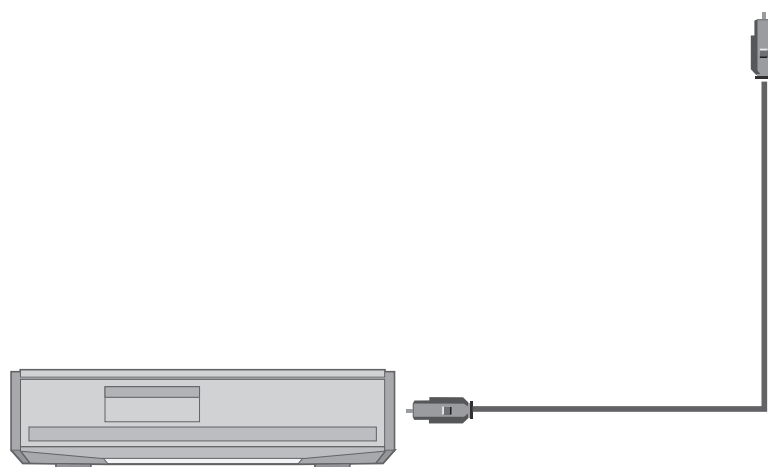
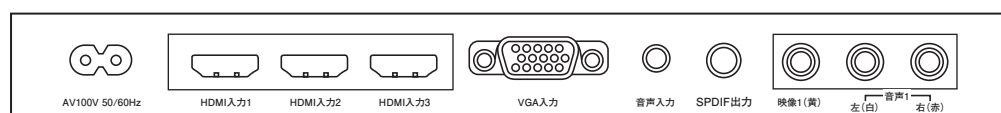
を使い、ビデオを選択し（決定）を押してください。

外部機器との接続

SPDIF 音声入力のある機器との接続

TVデジタル音声をSPDIF出力端子から外部オーディオ機器に出力します。接続には75Ωの同軸ケーブルが必要です。
デジタル放送を5.1chスピーカーで楽しみたい時には、SPDIF端子からホームシアター（デジタルアンプ）に接続してください。

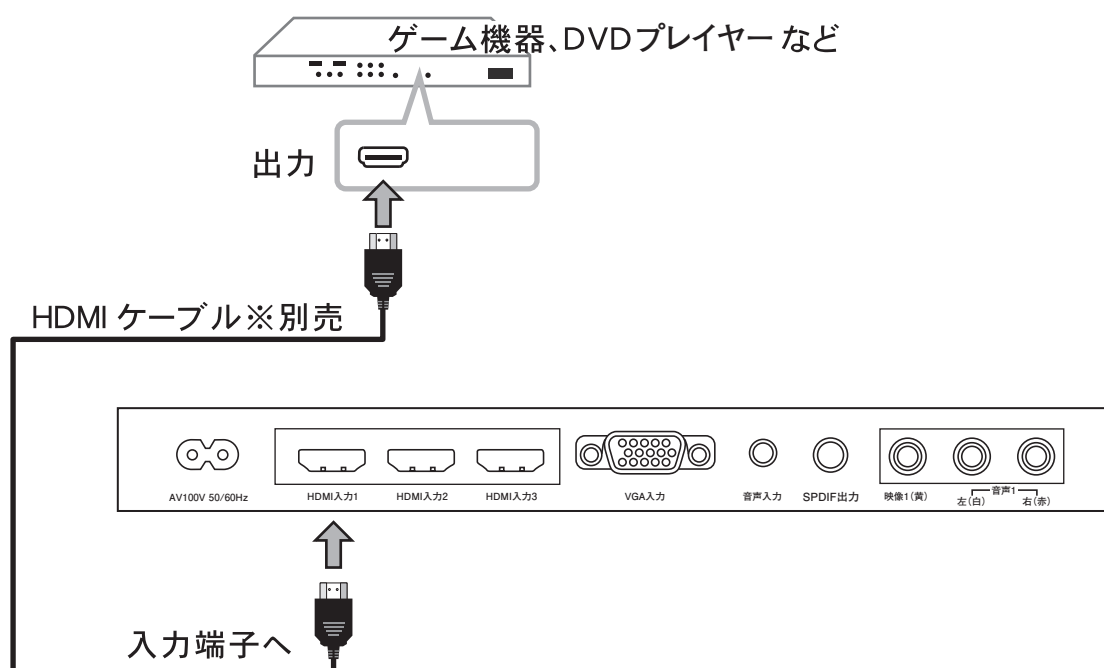
⚠ ご注意:SPDIF音声出力は、HDMIもしくは地上デジタル/BS/CS　TVモードの時に働きます。

⚠ TVのスピーカーからの音を消すには消音ボタンを押してください。

SPDIFとは、Sony Philips Digital Inter Face の略称で、音声信号をデジタル転送するための規格です。

外部機器との接続

HDMI出力のある機器との接続

● HDMI端子を使う場合

HDMI端子のあるDVDプレイヤーやブルーレイディスクプレイヤー、ケーブルTVや衛星放送のセットトップボックスなどを本製品に接続することができます。
HDMI ケーブルを1本接続するだけで、デジタル信号のまま映像信号と音声信号を入力することができます。

入力切換を行なっても「信号なし」と表示される場合がありますが、数秒後に接続されます。
入力切換を行なっても「信号なし」と表示され続ける場合は、正常に接続できていない可能性があります。
もう一度、外部機器との接続を確認してください。

- ケーブル接続作業の際は、電源プラグを抜いて作業してください。
- HDMIの標準技術規格に対応した機器をお使いください。
- 図は略図です。実際は異なることがあります。

● 入力した HDMI 映像をご覧になるには

(入力切換)を押すと、画面右上に右図の入力切換メニューが表示されます。

を使い、 HDMI を選択し (決定) を押してください。

(表示)を押すと画面に現在の入力信号の情報を表示します。

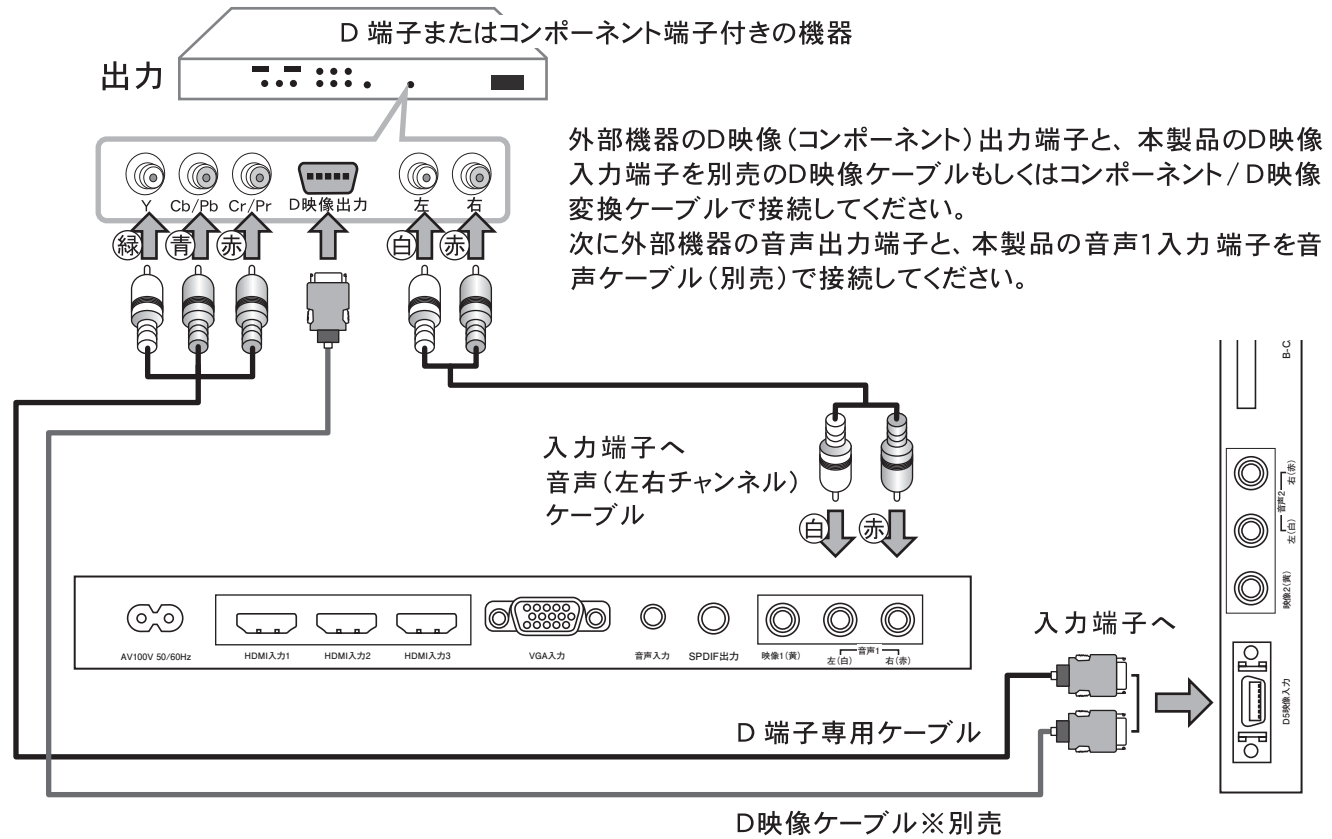
D 映像出力のある機器との接続

● D 映像出力のある機器との接続のしかた

◆ D 端子専用ケーブル（別売）で本製品の D 端子を外部映像機器（例えば、DVD、高解像度セットトップボックス等）の D 端子と接続します。

◆ 本製品の音声1入力端子（左／右）を外部映像機器の音声出力端子（左／右）と接続します。

◆ 本製品の D 端子が対応している映像入力信号フォーマット：480i、480P、720P/60Hz、1080i/50Hz、1080i//60Hz、1080P/50Hz、1080P/60Hz。

※ビデオデッキは機種によって正常に映像、音声が出ない場合がございます。

入力切換を行なっても「信号なし」と表示される場合は、正常に接続ができていない可能性があります。
もう一度、外部機器との接続を確認してください。

⚠
- ケーブル接続作業の際は、電源プラグを抜いて作業してください。
- 映像や音声などにノイズが入る場合は外部機器と本製品との間には十分な距離をおいてください。
- D端子映像接続、SD信号↔HD信号切換時、信号に合わせて本製品内部で画面を調整し直すため、画面がちらつくことがあります。
- 接続する機器の映像出力端子の種類によって接続方法が異なります。接続する機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。
- 図は略図です。実際は異なることがあります。

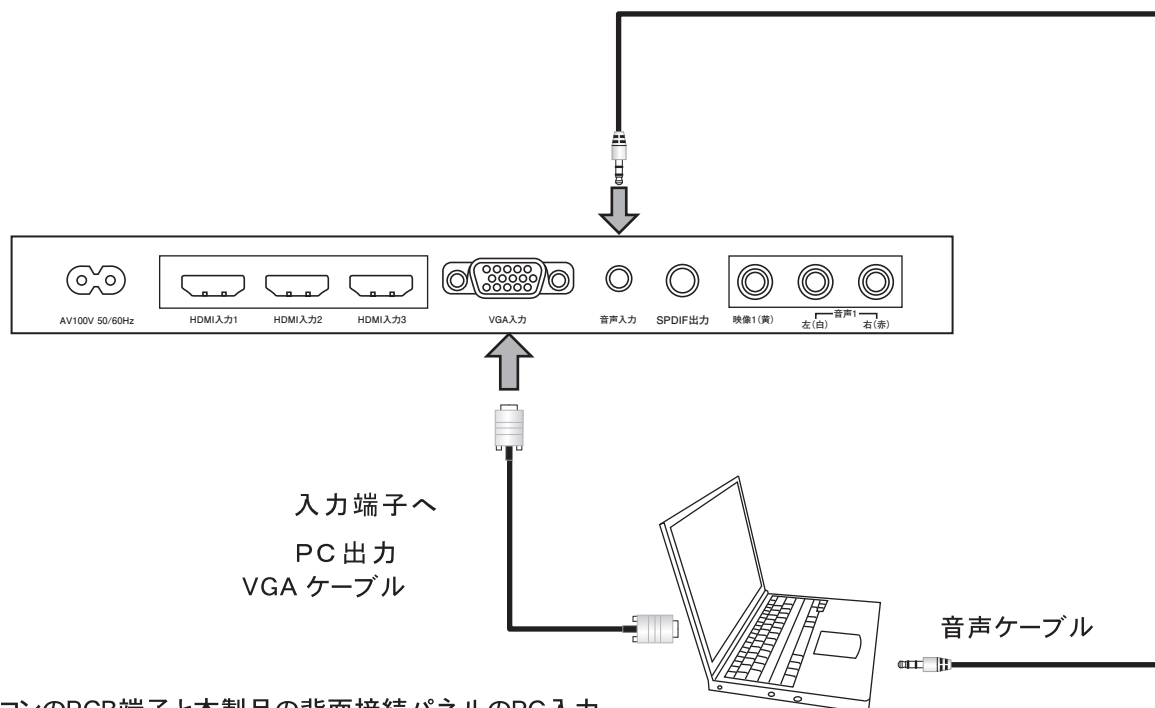
● 入力した D 映像をご覧になるには

（入力切換）を押すと、画面右上に右図の入力切換メニューが表示されます。

を使い、D5 映像を選択し（決定）を押してください。

PC（パソコン）との接続

● PC（パソコン）との接続しかた

◆ テレビのVGAポートはVGA出力ジャックでコンピュータから高解像度の信号を受け入れることができます。コンピュータモニターとして使用するとき、両方のユニットをオフにして、次に、15ピンのD-サブケーブルと3.5mmステレオ音声ケーブルと共にVGAジャックとPC Audioジャックで接続してください。記述のケーブルはこの製品に含まれておりません。

パソコンのRGB端子と本製品の背面接続パネルのPC入力（RGB）端子をアナログRGBケーブル（別売）で接続してください。
次にパソコンの音声出力端子と本製品の背面接続パネルの音声入力端子を別売のパソコン用音声ケーブルで接続してください。

入力切換を行なっても「信号なし」と表示される場合は、正常に接続ができていない可能性があります。
もう一度、外部機器との接続を確認してください。
サポート解像度は、以下の通りです。下記以外の解像度は、保証対象外となります。ご了承ください。

解像度(ピクセル)		リフレッシュレート（Hz）
SVGA	800x600	60
XGA	1024x768	60
WXGA	1280x720	60
WXGA+	1440x900	60

※一部メーカーのグラフィックボードでは対応できないことがあります。ご了承ください。

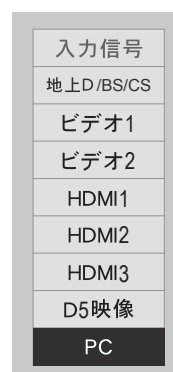
PC（パソコン）との接続

- 本製品サポート以外の解像度設定を行った場合、画面表示ができないことがあります。ご了承ください。
- 音量の調整はPC側でもおこなってください。
- 接続作業の際は、電源プラグを抜いて作業してください。
- ノイズが入る場合がありますので外部機器と本製品との間には十分な距離をおいてください。
- 接続時にはPCの取扱説明書も合わせてご覧ください。
- 図は略図です。実際は異なることがあります。

● 入力した PC 映像をご覧になるには

（入力切換）を押すと、画面右上に右図の入力切換メニューが表示されます。

を使い、PCを選択して を押してください。

外部機器との接続

その他

「その他」の項目では、本製品をお使いにあたっての各種情報をご案内いたします。

故障かな?・・・ と思ったら

故障かもしれないと思ったらこの項目の症状をチェックしてください。操作ミスや設定ミスの可能性もあります。また、本製品以外が原因の可能性もあります。プレーヤーなど、あわせて使用している機器の取扱説明書もご覧ください。下記からの各項目を見て設定などを点検しても直らない場合お買い上げの販売店、またはサービス / コールセンター（TEL：04-2960-3855）までお問い合わせください。
サービス / コールセンターにご相談になるときには、本製品の型番、症状を詳しくお知らせください。

症 状	原因/対処
電源が入らない。 電源がときどき切れる。 画面が映らない。	● 電源コードが正しく本製品の電源接続されているか確認してください。 ● アンテナ線がきちんと接続されているか確認してください。 ● 「地デジ設定メニュー」の「再スキャン」を再度おこなってください。 ● 本機とBS/CSアンテナが正しく接続されているのに画面が映らない場合は衛星放送アンテナに電源が供給されているか確認してください。 メニュー＞初期設定＞設定初期化＞電源供給＞入
特定のチャンネルのみ映らない。	● 「地デジ設定メニュー」の「再スキャン」をおこなってください。 ● お使いの地域に電波が正しく届いているか確認してください。 「地デジ設定メニュー」の「受信設定」の「受信レベル」をご確認ください。
外部機器の映像や音声が出ない。	● 接続が正しくされているか確認してください。 ● 外部機器の電源が入っているか確認してください。 ● リモコンの入力切換ボタンを押し、入力信号が合っているか確認してください。
映像にブロックノイズや雑音が多い。	● アンテナ接続ケーブルは他のケーブルやコード類からできるだけ離してください。 ● フィーダー線や室内アンテナは電波障害を受けやすいのでお買い求めの販売店や取り付け業者にご相談ください。
画面に黒い点（点灯しない点）または輝点（光る点）が見える。	● 液晶は微細な画素の集合です。画面の一部に画素の欠け（ドット抜け）や輝点が存在する場合がありますが故障ではありません。
画面に斑点状や縦縞、横縞、網目状のノイズが発生する。	● 本製品の近くにほかのテレビやコードレス電話、ドライヤー、またはほかの電化製品がある場合、それらの電化製品の電波により画面が乱れることがあります。その場合は近くにある電化製品の電源を切ってください。 ● 自動車やバイク等からの電波干渉を受けている可能性があります。本製品をなるべく道路側から離してください。
チャンネルを切り換えたときにノイズが出る。	● デジタルハイビジョン信号と標準テレビ信号など映像の解像度が変化するときに、白い線などが見えますが、これは製品内部で信号の同期を取るために起きるもので、故障ではありません。

故障かな?・・・ と思ったら

症 状	原因/対処
電源が突然切れた。 いつの間にか消えていた。	● オフタイマーを設定していないか確認してください。
電子番組表の番組欄に〈データがありません〉と表示される。	● 番組表情報をダウンロードするには多少、時間がかかります。 （電波状況によります）しばらくお待ちください。
番組表から録画ができない。	● 本製品には番組表を使って録画する機能はありません。
字幕や文字スーパー表示されない。	●「地デジ設定メニュー」の「機器設定」の「字幕・文字スーパー」を設定してください。
① 画面に「B−CASカードを正しくセットしてください」というメッセージが表示される。	● B−CASカードが本体に装着されていないか、抜けかかっている可能性があります。
② 画面に「B−CASカードを確認してください」というメッセージが表示される。	● B−CASカードが本体に間違って装着されている可能性があります。 それでも直らない場合はB−CASカスタマーセンター（TEL:0570-000-250）へお問い合わせください。
③ B−CASカードを紛失、破損してしまった。	● B−CASカードに関するお問い合わせはB−CASカスタマーセンター（TEL:0570-000-250）へお問い合わせください。
同じ放送局内の違うチャンネルに切り換わらない。	● 地上デジタル放送では1つの放送局から複数の番組が提供されている場合があります。 この放送は時間帯などによって放送しているときとしていないときがありますので、まずは視聴する放送局が複数のチャンネルを放送しているかを番組表などで確認してください。 複数の番組に分かれている場合はリモコンのチャンネル+−ボタンを使ってチャンネルを切り換えてください。数字ボタンでは番組が分かれている場合、代表チャンネルにしか切り換えられません。
リモコンが反応しない。	● 電池を交換してください。 ● 電池の十/—を確認してください。 ● リモコンを本製品のリモコン受光部に正しく向けて操作してみてください。 ● リモコン受光部に蛍光灯などの強い明かりが当たっているときは、リモコンがうまく反応しないときがあります。その場合はリモコン受光部に強い光が当たらないようにしてください。 ● 近くに電子レンジがある場合リモコンがうまく反応しないことがあります。 ● リモコンのセンサーを携帯電話等のカメラで撮影して、光っていればリモコンは正常です。 ● 番組表は、番組データ取得中はリモコン操作に反応しません。
音声が出ない。	● 音量が下がりきっていないか確認してください。 ● 接続した外部機器の音量が下がりきっていないか確認してください。 ● 接続が正しいか確認してください。 ● 消音になっていないか確認してください。 ● 番組表、番組内容表示中は音声は出ません。

故障かな?・・・ と思ったら

症 状	原因/対処
①ブロックノイズ(※モザイク状のノイズ)が出る。 ②地上デジタル放送が映らない。 ③映像が動かず、リモコンが反応しない。	● デジタル放送は電波受信状況により①②③のような症状が発生します。その場合は下記項目を確認してください。 - 電源ボタンを切ってから、アンテナ接続ケーブルが正しく接続されているかご確認ください。 - マンションにお住まいの方は地上デジタル放送が受信されているかマンション管理者にお問い合わせください。 - アンテナの位置、角度、方向、を変えてみてください。 - 弱電界(電波が弱すぎる)の可能性があります。アンテナの状態をお確かめください。 - ブースターのレベルを上げすぎると電波が受信できなくなることがあります。 - B−CASカードが正しく挿入されているかご確認ください。 - チャンネル設定ができているかご確認ください。 - ケーブルテレビの場合は、設定がケーブルテレビ会社により異なります。各ケーブルテレビ会社にお問い合わせください。 - 本製品の近くでほかの電化製品(電子レンジ、携帯電話など)を作動させると映像や画像が乱れることがあります。 - 「地デジ設定メニュー」の「再スキャン」からチャンネルスキャンをもう一度おこなってください。 - 集中豪雨のときなど、著しく悪天候の場合も電波状況が悪くなり①②③のような症状が発生することがあります。天候が回復するまでお待ちください。
電源を入れたときにピッという音がする。	● 電源を入れた際に、内部の回路が働くために音がしますが、故障ではありません。
設定メニュー画面が突然消えてしまった。	● 設定メニュー画面は無操作状態で 約20秒 が経過すると自動的に消えるようになっています。もう一度設定メニューボタンを押し設定メニュー画面のその他の設定中OSD時間を調整してください。
スタンバイ状態でカチッという音が本体内部から聞こえる。	● デジタル放送からデータの取得をするため本体内部の回路の電源が自動的に入るため音がすることがあります。故障ではありません。
本体からピシッというきしむ音がする。	● 周囲との温度差により本体カバーが伸縮し、ピシッという音が出ることがありますが本製品には影響ありません。
パソコンの画像が出ない。	● 接続するパソコンの種類によっては、画像が表示されない場合があります。 パソコンの画面設定を変更してみてください。 パソコンの設定方法については、各パソコンの取扱説明書をご覧ください。
ビデオやDVDの再生時に縦縞のノイズが出る。	● ビデオデッキやDVDプレーヤーとつないでいる場合、本製品との距離が近すぎるため干渉している可能性があります。ビデオデッキやDVDプレーヤーと本製品を離して置いてください。

故障かな?・・・ と思ったら

症 状	原因/対処
ビデオ等の再生時に画像が乱れ画面に映らなくなる。	●映像信号変換機能の付いた外部機器(アンプ等)を使用して、ビデオ映像信号やS映像信号をコンポーネントやD映像信号に変換して本製品に接続した場合、映像信号の状態によっては映像が乱れたり、映らないことがあります。その場合は通常のビデオ映像信号やS映像信号を直接、本製品に接続してください。
画像は出るが音が出ない。	●本機、または再生させている機器の音量が下がりきっていないか、または消音状態になっていないか確認してください。 ●音声端子が適切に接続されているか確認してください。 ●パソコンと接続している場合はパソコン側の音量も調整してください。
接続した機器の映像が出ない。	●接続コードを正しくつないでください。 ●コードが適切な場所に正しく接続されているか確認してください。 ●リモコンの入力切換ボタンを押して適切な入力信号に切り換えてください。

ES（エンジニアリング・サービス）について

● ES（エンジニアリング・サービス）とは

◆ ESとは地上デジタル放送の電波を用いて本製品のファームウェア（ソフトウェア）を自動でアップデートし、機能の追加や改善などを行うサービスのことです。

1 ESを行う際には、本製品の電源を入れ、地上デジタル放送を視聴して数分後に下図のメッセージが表示されます。
下図のメッセージが画面に表示された場合はESにご協力ください。

ソフトウェアのアップデートが実施されます XXX年XX月XX日XX時XX分の前後30分は待機状態にしてください。

2 上記のメッセージの時間帯に本製品を待機（スタンバイ）状態にします。

3 時間になるとファームアップ（ファームウェアのアップデート）が始まります。
電源表示ランプが赤色で点滅し、点滅が終わると終了です。

- ●ファームアップには10～30分程度かかります。電波の受信状況により変わる場合もあります。
- ●ファームアップ中は電源を切ったりアンテナ線を抜いたりしないでください。

4 ファームアップが終了すると画面に下図のメッセージが表示されます。
表示を消す場合は（戻る）ボタンを押してください。

（設定）ボタンを押して「放送メール」を確認してください。

5 放送メールをご覧になるには（デジタル設定 メニュー）を押して地上デジタルメール表示します。
地上デジタルメール→各種情報表示→放送メールを選択してください。

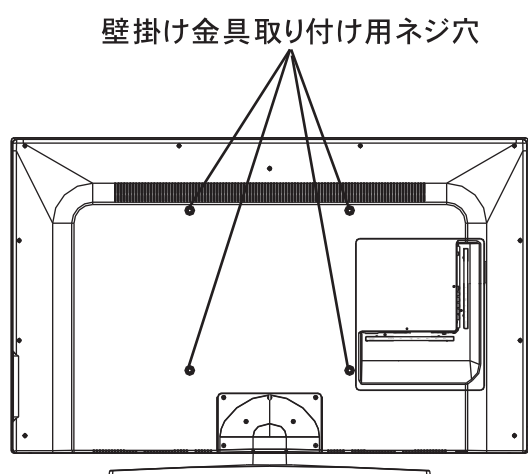
緊急警報放送について

● 警戒警報や津波警報などが発令された場合に放送されることがあります。
緊急放送をご覧になるには画面に表示されるアナウンスにしたがって操作をおこなってください。

緊急放送が開始されました「決定」でチャンネルが切り換わります。

壁掛けについて

本製品は市販の壁掛け金具を使用して、壁に取り付けることができます。

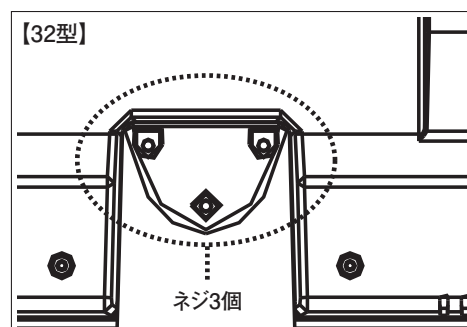
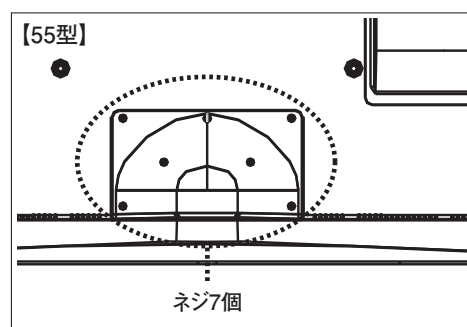
- テレビを取り付ける壁の強度には十分ご注意ください。
- 壁掛け金具の取り付けは、必ず専門の業者にご依頼ください。
- 専門業者以外の人が取り付けたり、壁への取り付けが不適切だと、テレビが落下して、打撲や大けがの原因となることがあります。
- VESA規格：
  55型　MIS-F 400,400,8
  32型　MIS-F 200,200,6　に準拠

取り付け用ネジ
55型　M8　15mm　×4
32型　M6　15mm　×4

注意
取り付け用ネジは指定の寸法をお守りください。短いと取り付けが不完全となり、長いと内部を破損するおそれがあります。

● スタンドのはずしかた

1 ドライバーでネジを取ってください。

2 テレビの本体ケースとスタンドを分離してください。

3 標準VESAのアクセサリーでテレビを壁に取付けてください。

- 液晶パネルを傷つけないよう取り扱いにご注意ください。
- はずしたネジは、再度スタンドを取り付ける場合に必要です。スタンドと共に保管してください。

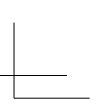
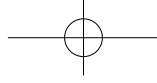
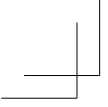
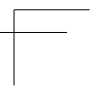
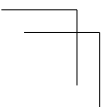
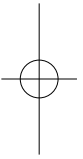
製 品 仕 様

		55型	32型
		LEDDTV5536J	LEDDTV3226J
液晶パネル	パネルサイズ	55.0インチ	32.0インチ
	解像度	1920 × 1080	1366 × 768
	色域	6ビット, 1,677万色	8ビット, 1,677万色
受信放送		ISDB-T/S	ISDB-T/S
待機電力		1W以下	1W以下
消費電力	定格電圧	AC100V　50/60Hz	AC100V　50/60Hz
	定格消費電力	103W	60W
	年間消費電力量(※①)	170kwh/年	99kwh/年
スピーカー出力		8W × 2	8W × 2
使用環境		0ºc-40ºc	0ºc-40ºc
壁掛け		VESA規格　M8 400　× 400mm準拠	VESA規格　M6 200　× 200mm準拠

付属品	①取扱説明書　②簡単設置/操作ガイド　③リモコン　④リモコン用電池(単4型)×2　⑤保証書　⑥電源コード　⑦B-CAS カード(赤)　⑧アンテナケーブル(地上デジタル)　⑨台座(スタンド)　⑩ファーストステップガイド　⑪スタンドの取り付けかた　⑫B-CASカード 止金具

入力	AV入力×2
	D5入力(音声はAVと兼用)×1(※②)
	HDMI入力×3
	VGA入力×1
	VGA音声入力(ミニステレオ)×1
	アンテナ入力(F型)
出力	SPDIF

※① 年間消費電力量とは、省エネ法に基づき、サイズや受信機の種類別の算定式により、1日4.5時間の動作時間、19.5時間の待機時間で算出した、1年間に使用する電力量です。

※② D5端子はD1〜D5まですべて使用可能です。

保証書とアフターサービス

本製品のアフターサービスに関してご不明な場合は、ご相談窓口にお問い合わせください。

◆ 保証書・保証期間について

・この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げの販売店でお渡ししますので、所定事項の記入、販売店の捺印の有無、および記載内容をご確認ください。なお、保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
・保証期間は、お買い上げの日より1年間です。
・弊社では、この製品の補修用部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製品の製造終了後、最低8年間保有しています。

◆ 修理を依頼されるとき

修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

[保証期間中の場合]
保証書の規定に従い、弊社にて修理をさせていただきます。下記のサービス/コールセンターにご連絡ください。

[保証期間を過ぎている場合]
お買い上げの販売店にご相談ください。修理範囲(サービス内容)、修理費用の目安、修理期間、修理手続きなどを説明いたします。
故障/修理のお問い合わせは下記のサービス/コールセンターまでお願いいたします。

◆ 修理を依頼される場合にお知らせいただきたい内容

・お名前・ご連絡先の住所・電話番号/FAX 番号
・お買い上げ年月日・販売店名
・モデル名・製造番号(製造番号は、本体の背面部のラベル上および保証書に表示されている番号です)
・故障または異常の内容(できるだけ詳しく)

■お客サービス/コールセンター
〒358-0026 埼玉県入間市小谷田2-1-40
TEL:04-2960-3855　FAX:04-2960-3866